坂出市地域防災計画
参考資料

第２章
災害に関する記録等

［危機管理課］

２－１ 災害年表

西暦	元号	月	日	件名	県内	坂出市
1617	元和3				暴風雨	
1626	寛永3				暴風雨	
1707	宝永4	8	17～19		暴風雨洪水	
1707	宝永4	10	4	宝永地震	大地震	高屋浜決壊
1710	宝永7	8			風水害	
1711	正徳1	11			地震　倒壊家屋1073軒、千余人死亡	
1721	享保6	3～5			大雨・洪水。高松藩、窮民45000人余に米穀を与える。	
1722	享保7	8	23		暴風雨、洪水	暴風雨、洪水により坂出の塩浜(新浜、内浜、宗徳浜)大半が壊滅。(阿波家記録) これにかえて岡浜築造か。
1726	享保11	1～3			大雪	
1728	享保13				暴風雨洪水	
1730	享保15				暴風雨洪水	
1731	享保16				大雨、地震	江尻村の堤防、暴風雨により崩壊、製塩不能となる。切口付近か。
1739	元文4	8	5～6		大雨洪水、堤防決壊、農作物被害	
1744	延享1	8	10		大雨洪水、津波高潮7尺、海辺堤防決壊、農作物被害多く、藩庁、被災者の程度により米を施して救助。	
1747	延享4	7			大雨洪水	
1752	宝暦2	7～8			暴風雨洪水	
1757	宝暦7	7			大雨洪水	
1765	明和2	8	2～3		大雨洪水、高潮が起きる。	
1768	明和5	7			風雨洪水、堤防など決壊。賦役人夫567000人余。	
1772	安永1	8	20		暴風雨・洪水で19000戸余が倒壊する。高松藩、被災領民を救済する。	高屋浜の林田大番側堤防が決壊。洪水により荒れ浜となる。(大日本塩業全書)
1781	天明1	5	4～5		暴風雨。数千町歩の稲苗流失。	
1785	天明5	7			洪水	
1786	天明6	9			暴風雨	
1791	寛政3	7	8		暴風雨、洪水	
1792	寛政4				暴風雨	
1795	寛政7				暴風雨洪水	
1799	寛政11	8	19		暴風雨、洪水	
1799	寛政11	9	7			大雨、綾川、増水で渡れなくなる。
1804	文化1	9			暴風雨	
1804	文化1	11	29			大黒屋より出火、西洲加・中洲加を焼く。 坂出村庄屋阿河佐平次、泉州堺より雲竜水(消化ポンプ)を購入。坂出村の消防制度発足の起源となる。
1808	文化5	6	29		暴風雨洪水、高松藩、難民を救済。	
1816	文化13	8	6		暴風雨	林田村大番洪水、高屋浜堤崩壊。
1817	文化14	9	9		暴風雨、洪水。(続々讃岐大日記)	
1820	文政3	5				大雨のため北条池決壊。
1820	文政3	6	5		暴風雨、洪水	青海村洪水
1821	文政4	8	8		暴風雨、洪水	
1824	文政7	12	15		大雪	
1826	文政9	5	21		暴風雨、洪水	暴風雨、阿野郡北の家屋倒壊、26軒。
1826	文政9	6	6		暴風雨、洪水	暴風雨、阿野郡北の家屋倒壊、11軒。
1826	文政9	秋				雨多く、阿野郡北に倒れた稲多し。
1829	文政12	5			暴風雨	
1829	文政12	7			暴風雨、洪水	
1829	文政12	7	17～18			暴風雨、阿野郡北、家屋倒壊、堤決壊などの被害甚大。
1833	天保4	8			大洪水	

西暦	元号	月	日	件名	県内	坂出市
1834	天保5	8	6		暴風雨	暴風雨による阿野郡北の被害 用水井出などの崩壊　5ヶ所 倒家　39軒 倒納屋　23軒 製札場破損　2ヶ所 海岸堤崩壊　2ヶ所 所蔵破損　1ヶ所 倒宮　1社 倒れ木　12本 坂出東・西大浜各所決壊。
1835	天保5	5				大雨のため、高屋浜川口波止被害。
1835	天保5	7	20		暴風雨、中稲棉被害。	
1835	天保5	閏7	6		暴風雨、洪水	暴風雨、坂出東新開(東大浜東方の畑地)の堤防決壊。
1835	天保5	8	22		暴風雨、晩稲被害。不作飢饉となる。	北条池堤防決壊
1835	天保5	12			大雪	
1839	天保10	8	9		暴風雨、洪水。飢饉となる。	大雨のため、高屋村鞍谷川の切口・海岸付近の堤・飛石川(神谷川)大砂入破損。
1841	天保12	8	9		暴風雨洪水	
1842	天保13	5	16			大雨、北条池台目破損、水番を配置。
1842	天保13	7				高屋村・青海村洪水のため不作。
1846	弘化3	7	14		暴風雨洪水	暴風雨 ・西庄村頼請けの綾川堤決壊。林田村・江尻村、洪水となる。 ・高屋村、水害により田畑不作。 ・高屋浜、沼井台584台、塩壺107台、塩窯屋12軒半壊、その他の被害があり、その復旧費として、銀札13貫の借用を願い出る。
1848	嘉永1	8			暴風雨	綾川の西庄村頼請け堤決壊。
1849	嘉永2	3	25			坂出村、横洲川堤崩壊。
1849	嘉永2	7	10～13		暴風雨洪水	
1850	嘉永3	9	2		暴風雨洪水	
1852	嘉永5	8			暴風雨	
1854	安政1	11	4	安政地震	朝から地震起こり始め、5日７ツ時大地震、城下の民家破損3000、１２月晦まで余震が続く。(高松市年表)	
1854	安政1	11	4～6	安政地震		綾北転家86戸、大破405個。 坂出村新開(墾田地)石垣崩壊、塩釜、釜屋被害、塩竈社石鳥居折損。 新浜、屋内、横洲被害なし、死人なし。 大阪表木津川での、地震による坂出船の被害。 　大破 　　入船丸(庄五郎)　200石 　　灘吉丸(御供所の七之助)　200石 　　弁天丸(市蔵)　100石 　小破 　　長永丸(和吉)　100石 　　末吉丸(宮次郎)　60石 　　宝永丸(利吉)　100石 　　長久丸(元助)　60石 (民賊物語)
1854	安政1	11	5	安政地震		大地震のため、沖湛甫西北隅の金毘羅社、社殿崩壊。 (民賊物語) 川津村六地蔵池、ゆる決壊。 (澤井文書)
1854	安政1	11	16			大風、米屋和右衛門持船、木沢沖で難破、船頭、加子2名溺死。
1854	安政1	12	3	安政地震		夜地震
1854	安政1	12	14	安政地震		大地震
1854	安政1	12	25	安政地震		地震
1854	安政1	12	30	安政地震		地震
1855	安政2	1	1	安政地震	地震	
1855	安政2	1	2	安政地震	地震	阿野郡北、地震による倒壊家多数。(渡辺文書)
1855	安政2	7	14			夜、高潮。林田村・坂出村・御供所村海岸被害。

西暦	元号	月	日	件名	県内	坂出市
1855	安政2	8	20		暴風雨洪水	綾川決壊、江尻・氏部村被害。
1856	安政3	2		安政地震		坂出東大浜12番～15番、地震により塩田大破、製塩不可能につき、年貢の免除を願い出る。
1856	安政3	7			暴風雨、洪水	鴨村、大雨被害による臨時普請を願い出る。
1857	安政4	7	1		暴風雨	暴風雨、阿野郡北、稲作被害、倒家あり。本条新田の堤決壊。
1858	安政5	7	29			夜、阿野郡北の村々、高潮により被害。修復のため臨時普請人夫2766人を雇用。
1859	安政6	6	14			大雨、村々に被害。
1859	安政6	12	23		地震	
1860	万延1	3	30			大雨、乃生村野田川用水堤・中池・西池破損。
1860	万延1	5	11		大雨	大雨、北条池の台目流失。本条新田堤崩壊など、阿野郡北の村々に被害。
1860	万延1	7	11		暴風雨洪水	暴風雨、鴨村倒家3軒、甘蔗・中稲作被害。
1861	文久1	5月以降				風雨多く、洪水、高潮で各所の池・川・海岸など崩壊。 北条池定人足3000人扶持では不足のため、10470人の日雇い人足を願い出る。
1861	文久1	7			暴風雨、洪水	
1862	文久2	7	14		暴風雨、洪水	
1864	元治1	5	2			暴風雨、高潮で青海村釜屋浦・新開・女山下水門が崩壊、稲・甘蔗が潮枯れ。応急修理と、阿野郡北村々の、余り苗の貰い受けを願い出る。
1864	元治1	8	8			大雨、綾川の井口決壊。
1865	慶応1	8	7～8		暴風雨	
1866	慶応2	7			暴風雨、洪水	暴風雨洪水による難渋人の救済方を願い出る。
1866	慶応2	8	7～8		暴風雨洪水	暴風雨、高屋浜決壊。
1869	明治2	7	7～8		暴風雨洪水	
1871	明治4	4	18		暴風雨洪水	
1871	明治4	5	17～19		暴風雨、家屋・田畑浸水、人畜死者多大。藩庁被害を調査。	暴風雨洪水により、北条池台目大破。 綾北の村々に家屋倒壊あり。 冠水した水田 西庄村　94石8斗9升4合 氏部村　20石4斗8升7号 鴨村　6石9斗1升4合 林田村　73石9斗2升5合 神谷村　4斗1升3合 乃生村　1石4斗9升3合 (高屋綾井文書) 青海村洪水。
1873	明治6	10			暴風雨洪水	
1874	明治7	8	19		香川・阿野の両郡、暴風雨・雷鳴。桃果大の雹降る。	
1880	明治13	9	16			暴風雨。府中の所蔵倒れる。
1881	明治14	7				洪水のため、北条池台目崩壊。
1884	明治17	8	25		暴風雨。海岸部の田畑被災。	暴風雨。 坂出村高潮で横洲・鳥洲の堤防決壊。谷内・新浜・薬師堂まで海水侵入。塩田壊滅。 林田村洪水。 砂弥塩田北西堤防、決壊荒廃。 木沢新池堤防決壊、突風で帆船民家に乗り上げる。
1885	明治18	7			暴風雨洪水	
1886	明治19	9	10～24			暴風雨高潮による被害甚大。 櫃石大浦海岸の堤防250間、水門など破損。 築造中の林田塩田崩壊。
1889	明治22	8	11			暴風雨により、林田小学校校舎破損。
1890	明治23	9	16		暴風雨	綾川堤防、各所で破損。高潮により築造中の林田塩田決壊、青海川堤防12箇所破損。
1890	明治23	10	6		暴風雨、各地に被害。	
1891	明治24	5				暴風雨、坂出避病院倒壊。
1892	明治25	4			風雨のため、麦作に損害。	
1896	明治29	8	30		暴風雨、洪水	暴風雨。坂出の降雨量93.3ミリ。府中村新宮の綾川堤防決壊。

西暦	元号	月	日	件名	県内	坂出市
1897	明治30	9	26		暴風雨、各地河川氾濫、土砂崩れ被害大。	
1897	明治30	9	29～30			金山山麓・田尾坂切通し崩壊し、宇多津以東汽車不通となる。 暴風雨による稲作被害歩合見込み。 坂出町　8分 金山・府中村　6分 王越・宇多津村　7分 松山　3分 西庄・林田・加茂村　5分 川津村　2分
1899	明治33	7	8		暴風雨。被災者多数にのぼる。	
1899	明治33	8	26		暴風雨。瞬間風速52メートル。 平均風速37メートル。 県下の被害 死傷者　1300人余 家屋倒壊　14326戸	倒壊家屋　死者 坂出町　29戸　4人 金山村　6戸　1人 西庄村　14戸　0人 府中村　91戸　2人 林田村　99戸　3人 松山村　37戸　2人 王越村　10戸　0人 川津村　30戸　2人
1904	明治37	8	29		暴風雨	
1905	明治38	8	29		暴風雨、家屋倒壊多数	
1906	明治39	9	29		大雨、洪水。降雨量184ミリ。	
1907	明治40	2			大雪、1尺2寸(36センチ)。	
1907	明治40	8	24～25		暴風雨、香川県か被害 河川破損　595箇所 橋梁破損　117箇所 被害額　40630円	
1910	明治43	5	10			暴風雨。綾川下流堤防決壊、西庄・江尻・林田に浸水。
1911	明治44	6	19		暴風雨	
1911	明治44	9	15		暴風雨	
1912	明治45	5	21～22		暴風雨	
1912	大正1	9	21～22		暴風雨。降雨量400㎜、死傷者100人に及ぶ。	午後3時頃よりの、風速34メートルの暴風雨は、翌日も降り続き、降雨量400㎜。 綾川堤防が決壊し、西庄江尻に濁流氾濫。午後7時、坂出の横洲川堤防も4箇所崩壊、東大浜・新浜・内浜きで浸水。坂出町は一面の海となり、水嵩は満潮より1尺5寸(約45センチ)も高く、街中をボートをもって救助・連絡にあたる惨状となる。死者なし、流失家屋30戸、浸水家屋、全戸の5分の3。 府中村、綾川堤防12箇所決壊。流失家屋3戸、浸水家屋85戸、耕地浸水46町8反(米減収794石) 王越村の天神丸、甘蔗畑水没。東分山崩れ。
1913	大正2	5				暴風雨。綾川堤防決壊、坂出町浸水。 坂出町、町内を五区としそれぞれに掃除巡視者、掃除夫をおき、塵芥の搬出と焼却処分を行う。
1916	大正5	8	1		大雨	
1918	大正7	7	22		四国・山陰・山陽地方暴風雨。風水害のため、稲作大被害、米価暴騰。	
1918	大正7	8	29～30		暴風雨。風速35メートル、各地に被害発生。	暴風雨。綾川・青海川堤防決壊、各所に浸水。
1918	大正7	9	14		暴風雨。県下各河川決壊。	暴風雨。綾川決壊、新宮・加茂・西庄・江尻各所浸水。 府中村城山橋附近の堤防決壊し、綾坂に向かって洪水、鉄道線路流失。新宮八幡社石段上まで浸水、府中巡査駐在所流失。
1923	大正12	9	13～15		暴風雨	
1925	大正14	3	12		突風・落雷。漁船26、帆船5隻難破。死者約50人。	
1926	大正15	12	8			強風により、坂出海岸に約1mの高潮来襲。
1928	昭和3	8	25		暴風雨	
1928	昭和3	9	12		県下に集中豪雨	

西暦	元号	月	日	件名	県内	坂出市
1931	昭和6	2	9		大雪、積雪30～40センチ。	
1931	昭和6	10	13～14		暴風雨	10.13　台風により大束川決壊。 10.14　金山新塩田堤防50間決壊。浸水約2m。
1932	昭和7	3	19			午後6時、坂出地方大雷雨。
1932	昭和7	6	7			午後3時頃高潮、坂出警察署消防組合総出動で、警戒。
1934	昭和9	9	21	室戸台風	風速45メートル、海岸道路崩壊600箇所	坂出警察署管内被害、建物倒壊184件、行方不明3人、乃生岬附近崩壊。
1935	昭和10	7	3			豪雨。下水幹線があふれ、田町以南の家屋浸水。
1935	昭和10	8	29		29日にかけて、県下暴風雨。	
1937	昭和12	9	10		暴風雨。風速30メートル、県下被害甚大。	綾川増水、橋の流失あり。
1938	昭和13	7	3		県下集中豪雨	
1938	昭和13	9	4～5		暴風雨。県下被害。	暴風雨により綾坂橋・鴨川橋流失。雲井橋歪曲、坂出港浮桟橋１基沈没。
1941	昭和16	8			瀬戸内暴風雨。塩田被害。	
1941	昭和16	10	1		暴風雨。塩田被害。	林田総社川(倉敷川)右岸決壊。坂出東大浜10・11・12番壊滅。
1942	昭和17	9	20～21		暴風雨。県下家屋浸水3931戸、稲田浸水305ヘクタール。 　河川堤防決壊などの被害。	暴風雨のため金刀比羅参宮電鉄坂出線、青野山北麓で地盤崩壊し、レール宙吊りとなり、4ヶ月間不通。
1945	昭和20	10				風水害により、高松－王越線新道、大崎附近で崩壊。
1946	昭和21	7	9		集中豪雨	高潮により東大浜9・10・11番塩田浸水。
1946	昭和21	12	21		南海地震、瀬戸内塩田甚大な災害を受ける。	南海地震により、坂出港西岸壁崩壊、臨港道路亀裂、海岸線各所崩壊。 　坂出塩田・林田浜・沖枡浜・惣社浜堤防崩壊浸水、各塩田の沼井台・壺崩壊浮上。かん水溜め亀裂、かん水流失30500石。 　王越山東の瀧崩壊。 　坂出警察署管内の被害。 　　死者16人　負傷者149人 　　家屋全壊161戸　半壊349戸
1947	昭和22	7	9		集中豪雨	
1950	昭和25	9	3	ジェーン台風	高松地区塩田被害。	台風により松山村中村上部落の村道崩壊、松山小・中学校・幼稚園の屋根破損。
1951	昭和26	6	8			豪雨、此花町方面浸水。
1951	昭和26	7	12		集中豪雨	坂出市街地浸水家屋1100戸。
1952	昭和27	7	1～3		集中豪雨、県下の被害5億7千万円に達する。	坂出市内、降雨量200ミリ、市街地浸水面積120ヘクタール、浸水家屋2732戸、道路崩壊9ヶ所、石垣崩壊6箇所、橋破損2ヶ所、山崩れ4ヶ所、暗渠破損5ヶ所。 　乃生塩田、石垣崩壊、かん水溜釜屋に被害。
1953	昭和28	6	8		台風来襲、香川県下の麦作被害、10億8500万円と推定。	
1954	昭和29	9	13	台風13号	県下の被害21億8000万円。	市内の海岸線、堤防各所で決壊。西運河拡張工事中の堤防、および中央臨港道路2ヶ所決壊。東大浜浸水壊滅。
1954	昭和29	9	26	台風15号		台風15号により大藪塩田堤防決壊。 災害救助法適用
1959	昭和34	9	26	伊勢湾台風		台風で坂出検疫所、坂出港務所倒壊。
1960	昭和35	7	7～8		集中豪雨	豪雨、坂出市内家屋浸水約1000戸。
1961	昭和36	9	3～4		集中豪雨	
1961	昭和36	9	14～16	台風18号	第２室戸台風	災害救助法適用
1961	昭和36	10	26～27		集中豪雨、大川郡・小豆郡被害大 災害救助法適用	
1963	昭和38	6	3～5		県下に集中豪雨、5月・6月にかけて未曾有の長雨、刈取麦水ひたしとなり芽を出す。麦作被害推定額、41億円。	豪雨、府中町野峯池堤防決壊。 　県道王越－松山線乃生岬崖崩れで不通。 　長雨による農作物被害甚大。 　坂出地区の被害、3億5723万円余。
1964	昭和39	9	25	台風20号	被害甚大	
1965	昭和40	3	16		大雪、積雪7－15㎝。	汽車・バスなど各路線不通、交通まひ。大雪のため帰宅できず、市内に宿泊する者多し。
1965	昭和40	9	9～10	台風23号	豪雨300ミリ－600ミリ、県下水害	災害救助法適用

西暦	元号	月	日	件名	県内	坂出市
1965	昭和40	9	13	台風23号		台風23号により、城山橋、小原橋流失。
1965	昭和40	9	17	台風24号		23・24号台風による坂出市の被害、死者1、負傷2、床下浸水1864戸、被害総額7億3000万円。乃生岬馬返り附近山崩れ、約40日間交通途絶。災害救助法適用
1967	昭和42	7	7			日本ヒドラジン工業株式会社坂出工場で、爆発事故発生、重軽傷者8名。
1968	昭和43	2	15			午後大雪、16.5センチ。商店街アーケード倒壊、農作物・果物に被害甚大。
1969	昭和44	3	12			坂出市内の積雪20cm、小学校9校休校、午前授業7校。 公立高校入試、大雪のため1日延期。
1969	昭和44	4	25			日本ヒドラジン坂出工場、爆発事故発生。
1969	昭和44	7	6～7		大雨	7.7 降雨67ミリ。乃生岬30メートル崩壊、全車両の通行不能。
1970	昭和45	8	14		台風9号による集中豪雨。	
1970	昭和45	8	21		台風10号。県下の被害額9億7500万円。	
1970	昭和45	8				台風により坂出地方の塩田、枝条架大半が倒壊。
1972	昭和47	3	11		大雪、作物に被害。	
1973	昭和48	7	22			坂出沖タンカー事故により、重油流出、中讃13漁協の船が回収に出動。
1974	昭和49	2	11			日本ヒドラジン坂出工場、爆発事故。
1974	昭和49	7	6～8	台風8号	大川郡、小豆郡被害甚大 災害救助法適用	
1974	昭和49	9	1	台風16号		強風により、坂出市内電線断線、停電相次ぐ。
1974	昭和49	9	9	台風18号	西讃を中心に床下浸水、田畑の冠水、道路の決壊、がけ崩れあり。国鉄予讃線不通。	
1974	昭和49	12	18		倉敷市水島の三菱石油水島製油所タンク破損。重油流出。 香川県下警戒態勢に入り、香川漁連・自衛隊などの応援を得て、香川県沿岸一帯の一斉清掃。	三菱石油重油流出事故により、備讃の島々および海岸線重油により汚染。 坂出市は、事故対策本部を設置。年末年始を返上、翌年1月末まで改修防除作業を行う。
1976	昭和51	7	14			災害防止法の特別防災地区として、番の州地区が指定される。
1976	昭和51	8	26		午前、県下全域に集中豪雨。	
1976	昭和51	9	11	台風17号	県下に集中豪雨。特に東讃 災害救助法適用	
1977	昭和52	3	30		県下に山火事頻発、特別災害警戒態勢をしき、パトロール隊を編成する。	
1977	昭和52	4	19			放火により、川津町城山の山林90ヘクタール焼失。
1977	昭和52	4	20			放火により、王越町木沢黒峰の山林70ヘクタール焼失。
1979	昭和54	9	20	台風16号		台風16号来襲、坂出市内各地に被害。
1983	昭和58	9	6			大雨洪水、旧市街地各所浸水。被害374ヶ所。被害額約2億円。
1983	昭和58	9	26		集中豪雨	

昭和 58 年までは「坂出市史・年表」より抜粋して作成。近年の災害については、次ページ以降を参照。

［危機管理課］

２－２　坂出市における台風および集中豪雨等による被害

この表は、確認できる範囲の資料を基に、昭和47年以降の床下浸水以上の被害が発生した災害を掲載したものであるため、この表以外にも強風による被害、浄化槽のオーバーフロー等の被害が発生しているほか、雨量観測所のデータ等確認できないデータが多い。

発生年	発生月日 又は期間	名称	総雨量 (㎜)	雨量 観測所	最大１時間 雨量 (㎜)	雨量 観測所	床上 浸水 (棟)	床下 浸水 (棟)	浸水区域等
昭和47	9月16日	台風20号	160	－	－	－	0	1、495	市内
49	7月11日	集中豪雨	58	－	－	－	0	43	駒止、文京
49	9月8日～9日	台風18号	117	－	－	－	0	150	駒止、文京、笠指、新浜、元町、白金、寿
51	9月9日～13日	台風17号	296	－	14	－	1	377	駒止、文京、笠指、谷町、白金
57	9月24日	台風19号	51	－		－	0	1	－
58	9月28日	台風10号	232	－	31	－	0	26	宮下、新浜、緑町
62	7月14日	台風5号	32	－		－	0	5	御供所、八幡、京町
62	10月16日～17日	台風19号	253	－	46	－	522	2、781	駒止、文京、笠指、白金 高松市、三木町災害救助法適用
平成2	9月20日	台風19号	330	－	17	－	0	85	駒止、文京、笠指、谷町、白金、新浜
7	7月3日～6日	集中豪雨	233	－	22	－	0	1	駒止、文京、笠指
10	9月22日	台風7号	141	－	34	－	0	107	駒止、文京、京町、谷町、御供所、白金、江尻、駒止、笠指
16	6月26日	大雨	51	府中	23	府中	0	5	文京、青葉 総雨量は、１日の雨量。
16	8月23日	大雨	68	王越	46	王越	0	2	文京、谷町 総雨量は、１日の雨量。
16	8月30日	台風16号	53	府中	19	坂出	130	265	全壊1棟、半壊4棟 最高潮位 TP上2.78m 災害救助法・被災者生活再建支援法適用
16	9月7日	台風18号	11	坂出 府中	5	王越	0	5	王越、大屋冨。 最高潮位 TP上2.34m
16	10月20日	台風23号	298	府中	45	府中	674	1、672	全壊1棟、半壊1棟、一部損壊101棟 災害救助法・被災者生活再建支援法適用、応急仮設住宅11戸
20	8月29日	平成20年 8月末豪雨	61	王越	58	番の州	0	6	久米、瀬居、林田。 総雨量は、11:00～13:00の2時間のみ抜粋。
20	9月21日	集中豪雨 突風	31	坂出	27	坂出	0	6	久米、林田。 多度津町、丸亀市において、竜巻及びガストフロントによる被害発生。
22	6月28日	大雨					0	1	文京町において床下浸水1
23	5月29日	大雨					0	1	床下浸水1、川津町において軽傷1
23	7月19日～20日	台風6号					0	1	床下浸水2、京町、入船町、与島町において軽傷3、
23	9月2日～3日	台風12号					0	2	一部損壊1、王越町、府中町において床下浸水2

発生年	発生月日 又は期間	名称	総雨量 (mm)	雨量 観測所	最大１時間 雨量 (mm)	雨量 観測所	床上 浸水 (棟)	床下 浸水 (棟)	浸水区域等
23	9 月 19 日～21 日	台風 15 号					0	0	軽傷 1
27	8 月 25 日	台風 15 号					0	0	重症 1
28	9 月 8 日	大雨					0	9	床下浸水新浜 1、久米 4、林田 1 御供所 1、常盤 1、室町 1
29	9 月 17 日～18 日	台風 18 号					2	2	床下浸水江尻 2、 床上浸水高屋 1、青海 1
29	10 月 21 日～23 日	台風 21 号					0	1	京町市民ホール
30	7 月 5 日～８日	7 月豪雨	370	府中	22	王越	0	0	住宅半壊 1、一部損壊 1 王越・金山で土砂災害
30	9 月 4 日	台風 21 号					0	0	農作物、カーブミラー
30	9 月 30 日	台風 24 号					0	0	軽症 1

［危機管理課］

２－３　県内の過去における主な地震一覧

（香川県地域防災計画より）

発生年月日	地震名	震度	規模	震 央	被 害 状 況
1707年 (宝永4年) 10月28日 14時	宝永地震	—	8.6	北緯 33.2° 東経135.9° 深さ － 紀伊半島沖	我が国最大級の地震の一つ。 全体で死者5,000人余、潰家約59,000軒、家屋の倒壊範囲は東海道・近畿・中国・四国・九州と中部地方の一部に及ぶ。 香川県では、死者29人、倒壊家屋929軒、丸亀城破損。また、五剣山の１峰崩落。余震は、12月まで続く。5～6尺(2m弱)の津波で相当の被害があった。
1711年 (正徳1年) 12月20日 15時		—	6.7	北緯 34.3° 東経134.0° 深さ － 讃岐中部 (香川県中部)	被害は、高松領のみ。死者1,000人余、倒壊家屋1,073軒、道路、堤割れる。また、津波が１日10回押し寄せ、余震は30日続く。
1854年 (安政1年) 12月24日 16時	安政南海地震	—	8.4	北緯 33.0° 東経135.0° 深さ － 紀伊半島沖	被害は、中部から九州におよぶ。地震や津波による全体の被害は、近畿地方やその周辺で、この地震の32時間前に発生した安政東海地震と区別できないものが多い。 房総より九州東岸にまで大津波が襲来。全体で死者3,000人、家屋全壊10,000戸、半壊40,000戸、焼失6,000戸、流失15,000戸。 香川県では、死者5人、負傷者19人、倒壊家屋2,961軒、土蔵被害157箇所、塩浜石垣崩れ3,769間、塩浜堤大破7,226間、川堤崩れ6,456間、せき崩れ491箇所、池大破264箇所、橋被害126箇所であった。この地震による津波の高さは、香西(高松市西部)で1尺(30cm余)であったが、満潮と重なり、志度浦と津田浦(共に県東部沿岸)で被害があった。
1927年 (昭和2年) 3月7日 18時27分	北丹後地震	多度津　４	7.3	北緯 35° 37.9′ 東経134° 55.8′ 深さ 18km 京都府北部	被害は、丹後半島の顎部が最も激しく、近畿・中国・四国の一部にもおよぶ。全体で死者2,925人、負傷者7,806人、家屋全壊12,584戸、半壊10,886戸、焼失9,151戸。 香川県では、小被害があった。
1946年 (昭和21年) 12月21日 4時19分	南海地震	高松　　５ 多度津　５	8.0	北緯 32° 56.1′ 東経135° 50.9′ 深さ 24km 和歌山県南方沖	極めて大規模な地震で、被害は中部以西西日本各地におよび、津波は房総半島から九州に至る沿岸を襲った。全体で死者1,362人、行方不明102 人、負傷者2,632人、家屋全壊11,506戸、半壊21,972戸、焼失2,602戸、流失2,109戸、浸水33,093戸等甚大な被害があった。 香川県では、死者52人、負傷者273人、家屋全壊608戸、半壊2,409戸、道路損壊238箇所、橋梁破損78箇所。また、堤防決潰･亀裂154箇所による塩田の浸水被害、地盤沈下による無形の被害も多い。

発生年月日	地震名	震度	規模	震 央	被 害 状 況
1995年 （平成7年） 1月17日 5時46分	兵庫県南部地震 （阪神・淡路大震災）	高松　　4 多度津　4 坂出　　4	7.3	北緯 34°35.9′ 東経135° 02.1′ 深さ 16km 大阪湾	この地震による被害は極めて甚大で、16府県におよんだ。全体で死者6,434人、行方不明3人、負傷者43,792 人、家屋全壊104,906棟、半壊144,274棟等の被害があった。 香川県では、負傷者7人、屋根瓦の破損等建物被害3戸、県道がけ崩れ1箇所、水道管破裂2箇所等の被害があった。市は軽傷者１名であった。
2000年 （平成12年） 10月6日 13時30分	平成12年 （2000年） 鳥取県西部地震	土庄　　５強 高松　　５弱 東かがわ５弱 観音寺　５弱 三豊　　５弱 小豆島　５弱 その他11市町　4	7.3	北緯 35°16.4′ 東経133° 20.9′ 深さ ９km 鳥取県中西部	この地震による被害は鳥取、島根両県を中心に、1府9県におよんだ。死者はいなかったものの、全体で、負傷者182人、家屋全壊435棟、半壊3,101棟、道路被害667箇所、がけ崩れ367箇所等の被害があった。 香川県では、負傷者2人、建物一部破損5棟の被害があった。
2001年 （平成13年） 3月24日 15時27分	平成13年 （2001年） 芸予地震	高松　　4 さぬき　4 丸亀　　4 坂出　　4 善通寺　4 三豊　　4 観音寺　4 土庄　　4 小豆島　4 直島　　4 宇多津　4 琴平　　4 多度津　4 まんのう4 綾川　　4	6.7	北緯 34°07.9′ 東経132° 41.6′ 深さ 46km 安芸灘	この地震による被害は広島、愛媛両県を中心に、9県におよんだ。 全体で、死者2人、負傷者288人、家屋全壊70棟、半壊774棟、文教施設被害1,222箇所等の被害があった。 香川県では、人的被害はなく、建物一部破損10棟の被害があった。
2013年 （平成25年） 4月13日 5時33分	淡路島付近を震源とする地震	東かがわ 5弱 小豆島　 5弱 高松　　 4 さぬき　 4 土庄　　 4 綾川　　 4	6.3	北緯 34°25.1′ 東経134° 49.7′ 深さ　15km 淡路島付近	この地震による被害は兵庫県淡路市を中心に、1 府4 県におよんだ。 全体で、負傷者35人（うち重傷者11人）、家屋全壊8棟、半壊101棟、一部破損8,305棟等の被害があった。 香川県では、人的被害、物的被害のいずれもなかった。
2014年 （平成26年） 3月14日 2時6分	伊予灘を震源とする地震	高松　　 4 丸亀　　 4 観音寺　 4 さぬき　 4 三豊　　 4 土庄　　 4 小豆島　 4 直島　　 4 多度津　 4	6.2	北緯 33°41.5′ 東経131° 53.4′ 深さ 78ｋｍ 伊予灘	この地震による被害は広島、大分両県を中心に6県におよんだ。 全体で、負傷者21人（うち重傷者2人）、家屋一部損壊57棟の被害があった。 香川県では、人的被害、物的被害のいずれもなかった。
2016年 （平成28年） 4月16日 1時25分	熊本地震	各地　２・3	7.3	北緯 32°41.1′ 東経130° 45.7′ 深さ 12ｋｍ	この地震による被害は熊本県を中心に7県におよんだ。 全体で、死者49人、負傷者1,663人（うち重傷者345人）、家屋全壊7,051棟、半壊21,181棟、一部破損102,031棟等の被害があった。 震度6弱以上を7回（7以上2回）記録する史上初の地震であった。 香川県では、人的被害、物的被害のいずれもなかった。

発生年月日	地震名	震度	規模	震 央	被 害 状 況
2016年 (平成28年) 10月21日 14時7分	鳥取県中部を 震源とする 地震	高松　　4 観音寺　4 さぬき　4 東かがわ 4 三豊　　4 土庄　　4 小豆島　4 綾川　　4	6.6	北緯 35°22.8′ 東経133°51.3′ 深さ 11ｋｍ 鳥取県中部	この地震による被害は鳥取県を中心に、1府3県におよんだ。 全体で、負傷者32人（うち重傷者9人）、家屋全壊18棟、半壊312棟、一部破損15,095棟等の被害があった。 香川県では、人的被害、物的被害のいずれもなかった。
2018年 (平成30年) 6月18日 7時58分	大阪府北部を 震源とする 地震	小豆島　4	6.1	北緯 34°50.6′ 東経135°37.3′ 深さ 13ｋｍ 大阪府北部	この地震による被害は大阪府を中心に、2府5県におよんだ。 全体で、死者6人、負傷者462人（うち重症者62人）、家屋全壊21棟、半壊483棟、一部破損61,266棟等の被害があった。 香川県では、人的被害、物的被害のいずれもなかった。
2021年 (令和3年) 12月3日 9時28分	紀伊水道を 震源とする 地震	さぬき　4 東かがわ 4	5.4	北緯 33°48.0′ 東経135° 8.8′ 深さ 18ｋｍ 紀伊水道	この地震による被害は和歌山県で発生した。 和歌山県では、軽傷5人人的被害、住家一部破損2棟の被害があった。 香川県では、この地震により、香川県立石田高等学校の温室の窓ガラス2枚が損壊した。

(注)１　高松地方気象台の調査による。(参考文献：「日本被害地震総覧599-2012」東京大学出版会)

２　表中の震度は、「平成7年(1995年)兵庫県南部地震」までは、気象庁震度観測点による。「平成12年(2000年)鳥取県西部地震」以降は、各市町の震度観測点の最大の値である。

３　兵庫県南部地震、鳥取県西部地震、芸予地震、淡路島付近を震源とする地震、伊予灘を震源とする地震、鳥取県中部を震源とする地震、大阪府腹部を震源とする地震および紀伊水道を震源とする地震の被害状況は、総務省消防庁による。

４　表中の1923年以降に発生した地震の震央地名は「震度データベース(気象庁ホームページ)」による。

［危機管理課］

２－４　坂出市の有感地震

令和７年２月１日現在

発生日	発生時間	震央	震度		備考
			坂出市王越町	坂出市久米町	
H 7. 1.17	5:46	淡路島付近	4	－	兵庫県南部地震(阪神淡路大震災)
H 7. 9. 9	0:39	紀伊水道	1	－	
H 8. 1.20	19:37	香川県西部	2	－	
H 9. 6.25	18:50	山口県北部	1	－	
H 9. 9. 4	5:15	鳥取県西部	1	－	
H10. 5.23	4:49	周防灘	1	－	
H11. 7.16	2:59	広島県南東部	1	－	
H11. 8.21	5:33	和歌山県北部	2	－	
H11.10.30	6:25	瀬戸内海中部	1	－	
H12.10. 6	13:30	島根県東部	4	4	鳥取県西部地震
H12.10. 6	13:36	島根県東部	－	1	鳥取県西部地震
H12.10. 8	13:17	鳥取県西部	1	1	
H13. 1.12	8:00	兵庫県北部	2	2	
H13. 1.20	5:19	兵庫県北部	1	－	
H13. 1.24	3:47	兵庫県北部	－	1	
H13. 1.25	19:45	徳島県南部	－	1	
H13. 2. 8	14:11	徳島県南部	－	1	
H13. 3.24	15:27	安芸灘	3	4	芸予地震
H13. 3.26	5:40	安芸灘	1	1	
H13. 4.25	23:40	日向灘	1	1	
H14. 3. 6	7:12	島根県東部	－	1	
H14. 3.25	22:58	伊予灘	1	1	
H14. 9.16	10:10	鳥取県中部	2	2	
H15. 8.14	23:45	高知県東部	1	2	
H15.12.13	12:32	播磨灘	1	2	
H16. 4.20	22:26	伊予灘	－	1	
H16. 9. 5	19:07	紀伊半島沖	1	2	
H16. 9. 5	23:57	東海道沖	1	2	
H16. 9. 7	8:29	東海道沖	1	1	
H16. 9.21	10:13	広島県南東部	－	1	

発生日	発生時間	震央	震度		備考
			坂出市王越町	坂出市久米町	
H17. 3.20	10:53	福岡県西方沖	1	1	福岡県西方沖地震
H17. 5.27	3:17	徳島県北部	2	2	
H17.11. 1	12:47	紀伊水道	—	1	
H18. 5. 8	12:45	瀬戸内海中部	1	2	
H18. 6.12	5:01	大分県西部	3	3	
H18. 9.26	7:12	伊予灘	1	1	
H19. 4.26	9:02	愛媛県東予	3	4	
H21. 4.21	1:55	瀬戸内海中部	—	1	
H21. 9. 3	22:26	薩摩半島西方沖	—	1	
H22. 7.21	6:19	奈良県	—	1	
H23. 1.16	20:33	徳島県北部	2	3	
H23. 1.19	9:48	徳島県北部	—	1	
H23. 2.21	15:46	和歌山県北部	—	1	
H23. 3.11	14:46	三陸沖	1	—	東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）
H23. 6. 4	1:57	島根県東部	1	2	
H23. 7. 5	19:18	和歌山県北部	2	2	
H23. 9. 8	19:58	香川県西部	—	1	
H23.10. 4	19:19	徳島県北部	1	2	
H23.11.21	19:16	広島県北部	1	3	
H23.11.25	4:35	広島県北部	—	1	
H23.11.25	4:52	広島県北部	—	1	
H24.10.27	4:44	高知県中部	1	2	
H25.4.13	5:33	淡路島付近	2	3	
H25.11.20	10:57	兵庫県西部	—	1	
H26.3.14	2:06	伊予灘	3	3	
H27.2.6	10:25	徳島県南部	1	2	
H27.2.14	23:17	徳島県北部	1	2	
H27.7.13	2:52	大分県南部	1	2	
H28.4.14	21:26	熊本県熊本地方	—	2	
H28.4.15	00:03	熊本県熊本地方	—	3	
H28.4.16	1:25	熊本県熊本地方	—	3	
H28.10.21	14:07	鳥取県中部	—	3	

発生日	発生時間	震央	震度		備考
			坂出市王越町	坂出市久米町	
H28.11.19	11:48	和歌山県南部	1	2	
H29.1.28	5:02	徳島県北部	―	1	
H29.6.14	19:24	高知県中部	1	1	
H30.4.9	1:43	島根県西部	2	3	
H30.4.9	2:10	島根県西部	―	1	
H30.6.18	7:58	大阪府北部	3	3	
R3.7.18	14:35	徳島県北部	1	2	
R3.7.31	13:09	徳島県南部	1	2	
R3.8.20	5:00	香川県西部	―	1	
R3.9.11	11:52	徳島県北部	1	1	
R3.11.1	5:35	和歌山県南方沖	―	1	
R3.12.3	9:28	紀伊水道	2	3	
R4.1.22	1:08	日向灘	1	3	
R4.5.23	8:20	徳島県北部	1	1	
R4.6.17	0:51	徳島県南部	1	2	
R4.12.29	1:47	高知県東部	―	2	
R5.11.10	10:54	土佐湾	―	1	
R6.1.1	16:10	石川県能登地方	1	2	
R6.2.26	15:24	伊予灘	―	1	
R6.4.17	23:14	豊後水道	2	3	
R6.7.29	23:12	瀬戸内海中部	―	1	
R6.8.8	16:42	日向灘	1	2	
R6.10.25	23:41	瀬戸内海中部	1	1	
R6.11.26	22:47	石川県西方沖	―	2	
R7.1.13	21:19	日向灘	1	2	

［危機管理課］

２－５ 坂出市における過去の主な事故・林野火災一覧

年	月日	事故名	原因	人的被害		事故概要
				死者	負傷者	
昭和29年	8月9日	煙火工場爆発事故	火薬	2	4	平尾火工品製作所
昭和30年	3月24日	煙火工場爆発事故	火薬	1	2	平尾火工品製作所
昭和42年	7月7日	日本ヒドラジン工業㈱坂出工場爆発事故	危険物		8	ＡＢＮ製造装置爆発火災
昭和47年	2月5日	川崎重工業㈱坂出造船事業部修繕ドック内火災		1		修繕ドック内のスラッジ火災
昭和49年	2月11日	日本ヒドラジン工業㈱坂出工場爆発事故	危険物		1	ＡＢＮ-R 製造装置において洗浄用ﾒﾀﾉｰﾙが裸電球にかかり電球が割れ引火爆発炎上
	12月2日	川崎重工業㈱坂出造船事業部接岸中の船舶爆発		1	8	修理中の船舶のボイラー逆火現象による爆発
昭和51年	9月21日	川崎重工業㈱坂出造船事業部接岸中の船舶爆発		1		修理中の船舶内における塗料のベーパーの爆発
昭和52年	4月19日	川津町「城山」火災	放火		1	南西 6m/S、77.98ha 損害額 7、650、000 円 陸上自衛隊災害派遣
	4月20日	王越町「五色台黒峰」火災	放火		4	南 5m/S、28.19ha 損害額 4、630、000 円
昭和53年	9月18日	屋外タンク爆発事故	危険物	1		丸善流通サービス㈱坂出油槽所の屋外タンクの補修中、溶接の火花がｶﾞｿﾘﾝ蒸気に引火し、タンクが爆発
昭和55年	2月13日	日本ヒドラジン工業㈱坂出工場爆発事故	危険物		3	5AAT 製造装置の試運転中、配管の詰まりによる爆発
昭和60年	1月16日	煙火工場爆発事項	火薬	1		平尾花火店
平成6年	1月28日	コスモ石油㈱ 坂出製油所爆発事故	高圧ガス 危険物		2	軽質重油脱硫装置の水素圧縮機の爆発
平成8年	7月30日 ～ 7月31日	府中町「鷲ノ山」頂上付近火災	不明		1	東北東 3m/S、13ha 損害額 1,820,000 円 防災ヘリ 2、消防ヘリ 1
平成9年	8月21日	コスモ石油㈱ 油所特定タンク火災	危険物			タンク解放点検作業中の火災
平成10年	2月20日	四国電力鉄塔倒壊事故				四国電力坂出火力線 14 号鉄塔の倒壊 停電 17,000 戸(丸亀市、坂出市、宇多津町) 四国ガス供給停止 8,973 戸（高松、坂出、丸亀、善通寺、宇多津、多度津、琴平) 番の州企業 6 社操業停止、縮小等 瀬戸中央自動車道一時通行止め
平成11年	3月18日	㈲尾崎石材火薬爆燃事故	火薬		1	小割発破の準備中、ターボライターの火が黒色火薬に着火し、作業員が火傷を負った
平成13年	5月15日	四国電力㈱坂出発電所アセチレンガス爆発火災事故	高圧ガス		1	電気集塵機の点検修理中にアセチレン･酸素ガスによる火災が発生し、作業員が火傷した
平成18年	8月7日	㈱日本ファインケム異臭事故				塩素ガスの排出事故
平成25年	7月10日	川崎重工業㈱ 窒素ガス漏えい事故	高圧ガス	1		気密試験に使用した窒素ガスが漏えいし、ガスが充填した塔屋に作業員が入り窒息
平成29年	7月26日	㈲平尾花火店 煙火工場爆発事故	火薬		2	プレハブ倉庫内に貯蔵していた火薬類に引火し、爆発

［危機管理課］

２―６ 古文書による記録

① 宝永南海地震の記録

「三野文書 高屋浜塩百姓・赤崎傳兵衛出入一件」(坂出市史 資料)より抜粋

讃州高屋村者共此度赤崎伝兵衛⑦相懸り候銀子之儀五拾ヶ年以前宝永之頃之残銀ニ御座候所宝永四亥ノ十月四日大地震之節塩浜不残ゆり崩シ家業株を失ひ右残銀不払ニ相成候由祖父親々共⑦申伝ニ御座候去⑦年伝兵衛方⑦書出シ遣候帳面と此度之銀高と相違ニ御座候尤塩売銀江利銀可相懸様無御座候所古キ儀故私共不存儀如何相心得候哉凡四拾三四年以来残銀之元江利銀をかけ畳上ヶ夥敷銀高ニ仕相掛り候段迷惑仕候右地震ニ而塩釜壺失ひ其上伝兵衛江売置候塩茂津浪ニ而失ひ候所銀子不請取以前故私共損銀ニ相成候(以下略)

寛延四年(宝暦元年・1751 年)十月、備前国児島郡赤碕村の伝兵衛が、坂出村惣兵衛及び高屋村塩百姓八一人に対し、宝永(1704 年～)の頃に塩買入れの前銀として支払った九六貫一七九匁七分の不履行を訴えた訴訟に対する、高屋村の塩百姓から奉行所への返答書(宝暦二年)の一部。

宝永４年(1707 年)の宝永南海地震の被害の様子が、祖父や親から伝え聞いた話として紹介されている。

「坂出市史 資料」に掲載されているとおりの仮名使いを使用。判読不可能な文字は全て「⑦」で記載した。

② 安政南海地震の記録

「綾野義賢大検見日誌」（香川県史10　近世史料Ⅱより）より抜粋

嘉永七年（11月27日から安政元年）十一月

廿三日、晴、暁のほと地小さく震ふ事ふたゝひ、卯の下りにまた御米蔵に至
嘉永七年十一月二三日→1855年1月11日　7:00前

て貢納を見、巳のはしめにうた津を出、坂出村に至れハ本条郡正か子出迎た
9:00過ぎ　宇多津　綾北大庄屋　本条和太右衛門？

り、この頃の大震に坂出・林田なと瀬海の所、地大にさけ人家やふれくつれ
安政南海地震（嘉永七年十一月五日）　地割れ　家屋倒壊

しもの少なからすと聞へしかは、それらを見んと、本条か案内にて坂出・江

尻・林田・高屋・青海なと瀬海の地をめくり見る、坂出・林田地さけ堤水門
堤防水門

なとくつれ橋落、またハ土地落入りし処もあり、地さけて初のほとハ水吹出
崩れ　地盤沈下・沈降　最初は水が噴出し

しか、後にハ白砂吹出しか其まゝなるもの多し、これらのさまハ高松より甚
たものが、後で白砂を噴出し（液状化？）　ひ

だし、されと人家少けれハ家くつれしものは最少し、江尻・高屋・青海なと
どい

ハ、坂出・林田にくらふれハやゝゆるやかなり、申の刻はかり青海村渡辺郡
16:00　青海村渡辺駒

正か家に入てやとる、戌の刻はかりに地また震ふ、家外にかけ出んと戸障子
之助？　宿る　20:00

ひきあけしほとなり、夜半の頃また少しくふるふ

綾野義賢は、当時鵜足郡と北阿野郡を管掌する高松藩の代官で、郡奉行とともに実施した大検見（郡奉行が作物の育成状態を実見）の様子や、その他地方の様子等を記録したものが「綾野義賢大検見日誌」である。

仮名使い等は、「香川県史10　近世史料Ⅱ」に掲載されているとおりに使用。ゴシック体が原文。明朝体の訳は、平成二一年一月当時の総務課防災係担当者による。

③　安政南海地震の記録

宮崎家文書「民賊退治物語　巻ノ上」より抜粋

一　十一月四日昼四ツ時地震五日昼七ツ時ニ大地震イタシ家ニ居ル者無シ夫ヨリ八度〱ノ地震ユヘ坂出村ノ者**ドモ**大ヒニ恐怖シテ野宿イタシ六日ニモ亦〱以前ノ如ク西ノ方ヨリドロ〱ト鳴来リテ地震止子バ村中家〱ニ小屋ヲ掛テ人〱ハ其中ニ居レリ

評曰太閤秀吉公ノ時ニ大地震セシハ慶長元丙申歳七月十二日①ノ夜也
其後大地震ハ元禄七甲戌歳五月二七日②ノ朝也夫ヨリ今度ノガ大地震
也昔ノ大地震ハ御國ニ在テハ讃岐大日記其外右？ニ有レバ爰ニ載セ
ス

一　五日ノ大地震ニ付坂出村ノ破損ハ左ノ如シ
新地分ハ大地裂テ石垣崩レ沖ノ金毘羅神ノ社殿崩レ橋モ一箇所落チ塩釜神ノ石ニテ造リタル大鳥居折レタヲレタリ其外ニ人家破損セサルハ更ニ無シ塩竈釜屋ニ損セスハ無ユヘ新地ハ村中ノ大破ト申スヘシ其次ノ破損ハ新開　東洲賀　中洲賀　其次ノ破損ハ西洲賀　内濱也大破モアレバ小破モ有シガ是ハ家〱ノ幸不幸ト云バシ其次ニ新濱分ハ家ニ居憎キ程ノ大地震タレ**ドモ**瓦一枚モ損無ケレバ有難キトテ喜バヌ者ハ無ク其内ニ谷本澤次郎居宅ハユガミ出来土塀等モ崩レシカバ先ハ大破ト申ス也　屋内　横洲ノ在？ハ新濱同様ノ由ニテ格別損ジハ非ズシテ喜ビ居ケル也

一　先日ノ大地震ニ坂出村ニハ怪我人マタハ死人杯一人モ無キ事ハ是ヒトヘニ氏神八幡ノ守護ニ依テヤ掛ル前代未曽有ノ大地震ニ不思議ト村中ノ者**ドモ**危難ヲ遁レタル御禮ト申シテ近村ノ神職ヲ頼ミ十一日　十五日ノ夜八幡神社ニ在テ篝火ヲ焼テ神ヘ御神楽ヲ奏シ奉リタリ

一部の表示できない漢字を、変換可能な字に置換。判読不可能な字は全て「？」に置換。
「〱」→繰り返し(「ゝ」、「々」と同じ)
「**ドモ**」→原文は「イ」(人偏)の右側に「モ」を書いて「〃」(濁点)

①文禄五年(十月二七日より慶長)七月十二日に豊後地方で地震・津波、畿内で地震が発生している。
②閏五月二五日伊予で地震が発生したという記録があるが、定かではない。

［危機管理課］

２－７　平成１６年台風１６号の対応経過・被害等

１　最高潮位

(1)　量水標名称　　　　坂出港港務所(検潮儀)

(2)　最高潮位年月日　　平成１６年８月３０日　２３：１３

(3)　最高潮位　　　　　ＴＰ上２．７８ｍ(ＣＤＬ４．３４ｍ)

※　ＴＰは東京湾平均海面(標高０ｍ)、ＣＤＬは坂出港基準水準面(ＴＰ＋１．５６ｍ)

２　高潮及び台風１６号に対する対応経過(一部)

○　８月２９日(日)の高潮対策

21:00　５０人体制

23:45　解散

最高潮位　３６７ｃｍ(＋３７ｃｍ)

○　８月３０日(月)の台風・高潮対策

9:00　港湾課長より、潮位観測から昼の満潮時は心配ない見込みであるとの報告あり。

14:30　港湾課長よる潮位見通しによれば、特に久米町一帯が高潮による冠水が予想される旨報告あり。

14:45　水防本部設置、本部会開催。

・　高潮対策のため土嚢の作成と広報車による警戒呼び掛けを決定。

16:50　水防本部会開催

・　特に、高潮に関する気象情報の確認。

・　住民への警戒広報、避難場所の協議。

17:00　久米町(東大浜)を中心に、高潮に関する注意を広報車で呼び掛ける。商工会議所からも注意を行った。

(19:00 と 21:00 にも同様)

17:40　消防団へ協力要請(西部、中央、林田、松山、王越、番の州)

18:30　土嚢作成続行、土嚢の要請・土嚢運搬作業が活発になる

21:00　水防本部会開催

・　避難勧告について協議。

・　避難所への職員配置協議。

21:40　避難勧告の決定

・　西部、中央、東部、金山、林田、松山、王越の沿岸地域と与島校区

・　伝達方法：ＫＢＮ、サイレン吹鳴装置、自治会、坂出有線、坂出東部有線、広報車７台(うち消防４台)

・　各所で通行止めの情報が入る。

22:05　避難勧告の旨を市内全部のサイレン吹鳴装置で住民周知。(繰り返し)

22:過ぎ　市民より救護要請入る。王越町乃生西脇で床下浸水の報が入る(初報)。

その後、各地で道路冠水、交通規制・通行止め、浸水情報が続々入る。

22:25　・　瀬居町竹浦の浸水で、消防団が高台へ住民を誘導。

・　青海川決壊のおそれありで、消防団が住民の避難誘導

23:00　災害対策本部の設置

○　８月３１日(火)

1:40　松山、王越を除く地区の避難勧告を解除

3:00　松山、王越地区の避難勧告を解除(全校区の避難勧告を解除)

3　避難者数

（平成 16 年９月１日集計分）

	世帯数	男	女	計
西部小学校	１１	9	１３	２２
中央小学校	１１	１４	１４	２８
中央公民館	0	0	0	0
東部小学校	4	4	5	9
坂出中学校	0	0	0	0
東部中学校	4	3	6	9
金山小学校	1	4	1	5
西庄小学校	0	0	0	0
林田小学校	8	１５	１７	３２
白峰中学校	0	0	0	0
加茂小学校	0	0	0	0
府中小学校	0	0	0	0
松山小学校	３０	４４	５６	１００
王越小学校	１２	１２	１８	３０
川津小学校	0	0	0	0
瀬居小学校	3	3	6	9
瀬居中学校	9	9	２３	３２
沙弥小・中学校	0	0	0	0
万葉会館	7	7	１２	１９
与島小学校	0	0	0	0
与島中学校	0	0	0	0
櫃石小学校	0	0	0	0
櫃石中学校	0	0	0	0
岩黒小・中学校	0	0	0	0
市民ふれあい会館	0	0	0	0
市民広場	0	0	0	0
坂出高等学校	0	0	0	0
坂出商業高等学校	0	0	0	0
坂出工業高等学校	0	0	0	0
◎松山公民館	5	１２	6	１８
◎王越公民館	4	6	8	１４
◎与島開発総合センター	3	2	4	6
合　　計	１１２	１４４	１８９	３３３

◎は指定以外の避難所

４ 被害状況（住家・店舗）

（平成 16 年９月 22 日最終）

地区		床上浸水（住家）	床下浸水（住家、店舗）	全壊・半壊（住家）
	御供所町ニ・三丁目	３	８	
	久米町一・二丁目	０	１０	
	本町二・三丁目	１	８	
	元町三丁目	０	１	
	中央町	１	８	
	入船町一丁目	０	７	
	寿町三丁目	１	１	
	江尻町	１７	４７	
旧市合計		２３	９０	
	大屋冨町	２６	４３	半壊　３
	高屋町	２	１４	半壊　１
松山校区合計		２８	５７	半壊　４
	港二区	１	２	
林田校区合計		１	２	
	乃　　生	２２	３０	
	木　　沢	１６	１０	
王越校区合計		３８	４０	
	与島	６	１０	全壊　１
	小与島	２	２	
	瀬居　竹浦	１	１２	
	瀬居　本浦	５	１０	
	瀬居　北浦	０	３	
	瀬居　西浦	４	１１	
	沙 弥	１４	１５	
	櫃 石	８	９	
	岩 黒	０	４	
与島校区合計		４０	７６	
合　　計		１３０	２６５	全壊　１ 半壊　４

※　災害救助法に定める基準による判定

※　非住家、空家を除く

5　被害状況（その他）

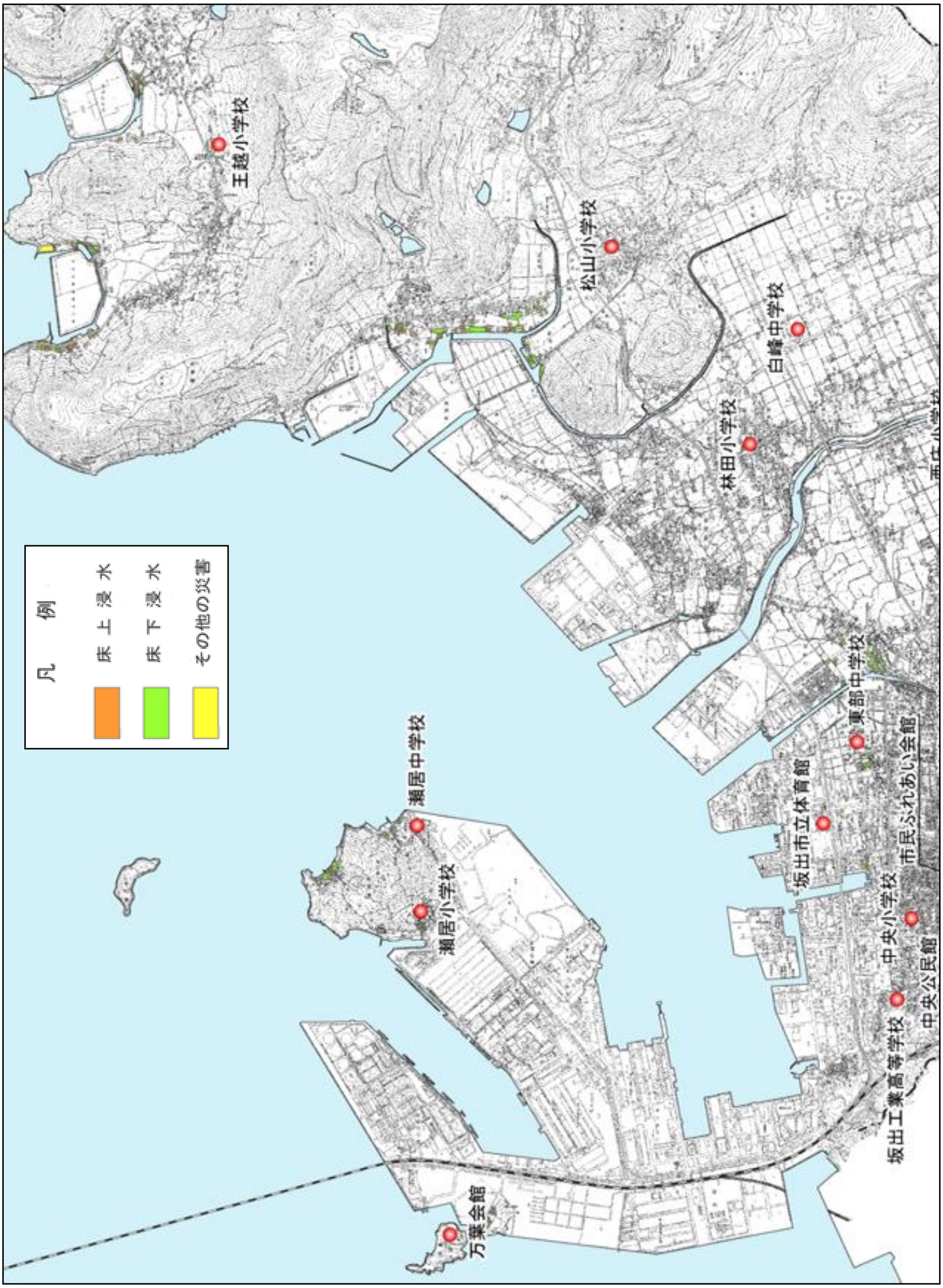
（平成 16 年９月 13 日　市議会総務消防委員会報告分）

担当部	担当課	被害の種類	被害の場所	被　害　内　容
総務部	管財課	建物被害	京町二丁目 (市民ホール)	正面玄関窓ガラス損傷
市民部	福祉事務所	建物被害	櫃石５０５－３地先 (櫃石老人いこいの家)	外壁、基礎一部、浄化槽ブロア、空調室外機、畳（２４枚）　他１件
	同和対策室	建物被害	川津町６１００ (川津文化センター)	屋根瓦、天井ボード破損
環境経済部	環境交通課	カーブミラー	府中町前谷 JR 高架南側外６ヶ所	風により支柱が曲折または根元から折れ転倒、ほかに高波により護岸が崩れ基礎ごと転倒
	清掃事業課	車両の破損	本町３丁目付近及び中央町付近	２トントラック２台(粗大ごみ収集車両１台及び資源ごみ収集車両１台)
	農林水産課	農作物被害　水稲 海水冠水	江尻、松山	面積 14.5ha(江尻 0.5ha、松山 14.0ha)
		〃　　〃 海水流入	江尻、松山、王越	面積 21.5ha(江尻 1.5ha、松山 10.0ha、王越 10.0ha)
		〃　　金時人参 海水冠水	鳥津、江尻、松山	面積 44ha(鳥津 3ha、江尻 10ha、松山 31ha)
		〃　　甘藷 海水冠水	松山	面積 1ha
				計　81ha
		農業施設被害 ハウス全壊	加茂	1a
		〃 ビニール破損	川津、府中、西庄、林田、松山	102a(川津 20a、府中 5a、西庄 12a、林田 5a、松山 60a)
				計　103a
		漁船・漁具被害 漁船	与島、松山	５隻沈没(与島２隻、松山３隻)
		〃 ノリ乾燥機	沙弥	１基
		〃 ノリ前処理機	松山、王越	５基(松山１基、王越４基)
		〃 ワカメ乾燥機	王越	１基
		水産陸上施設被害 荷さばき所	櫃石	１ヶ所流出(調理器具等)
		〃 漁具倉庫	〃	１棟破損(シャッター)
		〃 油貯蔵庫	〃	３棟破損(シャッター及び電気系統)
		〃 船巻揚施設	瀬居	２基破損(西浦１基、竹浦１基)(台船)

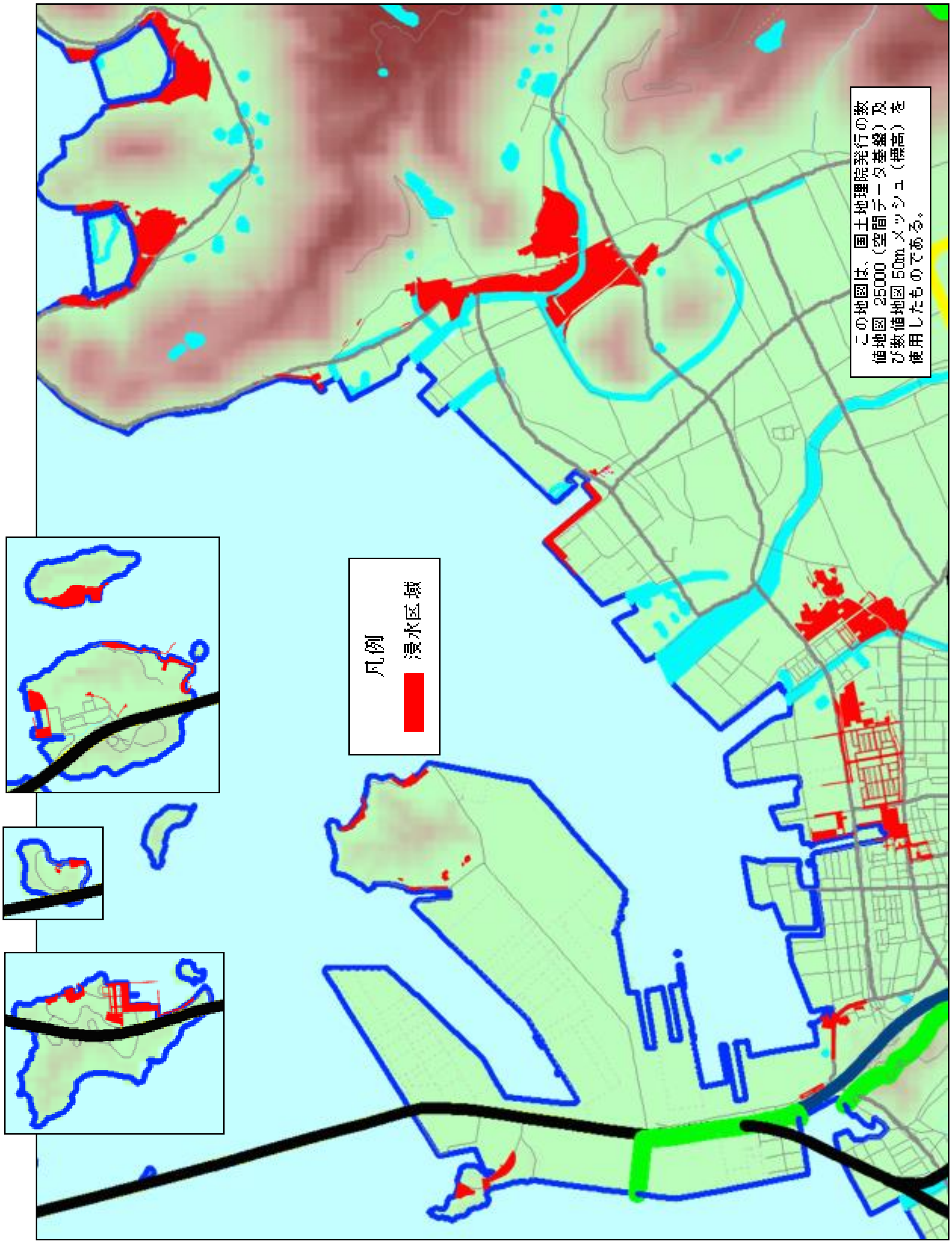
担当部	担当課	被害の種類	被害の場所	被　害　内　容
		〃 倉庫	松山、王越、櫃石	３棟破損(壁)
		〃 浮き桟橋	松山	１基破損
		〃 事務所	坂出漁協、与島漁協、王越漁協	３棟
	商工観光課	アーケードの損傷及びその周辺の損傷、ほかアーケード開閉ワイヤーの損傷	港町北商店街　他７商店街	アーケードの一部損傷、アーケード側面部の一部損傷、アーケード側面部のブリキ板看板の商店街内側への傾き、アーケード開閉用ワイヤーの損傷
都市建設部	港湾課	港湾被害	番の州	番の州西護岸　Ｌ＝２５４ｍ　基礎工・堤体工・水叩き工の崩壊
		〃	〃	番の州緑町西護岸　Ｌ＝１１ｍ　水叩き工の吸出し
		〃	松ヶ浦　他８ヶ所	堤体工、護岸背後の崩壊
		〃	穴部	穴部南防波堤　Ｌ＝５０ｍ　堤体工の崩壊　取付部　Ｌ＝１０ｍ含む
		漁港被害	西脇	Ｃ物揚場　Ｌ＝２０ｍ　護岸背後の崩壊
	建設課	道路被害	江尻	市道東横津川線　法面崩壊３ヶ所Ｌ＝７０ｍ
		〃	王越	市道番屋新開２号線　道路崩壊(舗装)　Ｌ＝１２０ｍ
		〃	大屋冨　他５路線	路面流失・陥没、土砂堆積
		住宅被害	与島団地	床上浸水５戸(畳、外壁、玄関、床等)
		〃	御供所北団地　他６団地	屋根、外壁、建具等の破損および樹木９ヶ所
	都市計画課	公園被害	東・西大浜	倒木４本
	下水道課	ポンプ場被害	沙弥ポンプ場	ポンプ制御盤冠水
		〃	東浜ポンプ場　他２ヶ所	浮遊物流入・土砂堆積、ポンプ小屋漏水
教育委員会	社会教育課	浸水被害	海の家	海の家周辺道路・駐車場およびナカンダ浜の冠水(海の家は床下浸水)
		〃	瀬居竹浦分館	異常潮位による床上浸水
		建物被害	万葉会館　他４件	屋根軒下部分の破風板(３０㎝×２００㎝)２枚が剥離　他４件
	庶務課	浸水被害	沙弥小・中学校	校舎床上浸水、屋根アスファルト防水剥離・脱落４０㎡
		設備被害	白峰中学校	運動場　防球ネット支柱１ヶ所破損ネットフェンス２０ｍ破損

担当部	担当課	被害の種類	被害の場所	被　害　内　容
		建物被害	坂出幼稚園　他９件	屋根金属板　剥離･破損５㎡　他９件
	体育課	設備被害	番の州プール	フェンス倒壊および２５ｍプール床カーペット破損　他４件
		〃	テニスコート	フェンス一部不具合　他２件
消防本部	庶務課	サイレン吹鳴装置被害	櫃石３３０－３	作動不能　他１件
		車両被害	久米町一丁目	指令車、救助工作車、消防ポンプ車他合計１８台
		小型動力ポンプ被害	櫃石３３０－３	エンジン始動不能　他２台
		建物被害	久米町一丁目　等（消防本部庁舎）	屋根防水シート剥離・破損
		建物被害	櫃石３３０－３（消防屯所）他４件	北側壁体破損　他４件
市立病院	医事課	物品被害	櫃石５０５－３（櫃石診療所）	床上浸水のため、医薬品、電気製品、電気設備等に被害
水道局	工務課	配水管（ＶＰ径７５）破損	王越町木沢９９８－４番地地先	高潮による護岸背後の土砂が流出、陥没に伴う配水管破損事故（ＶＰ径７５＝１３ｍ）

６　平成１６年台風１６号 被害箇所図



7　平成１６年台風１６号 浸水区域図



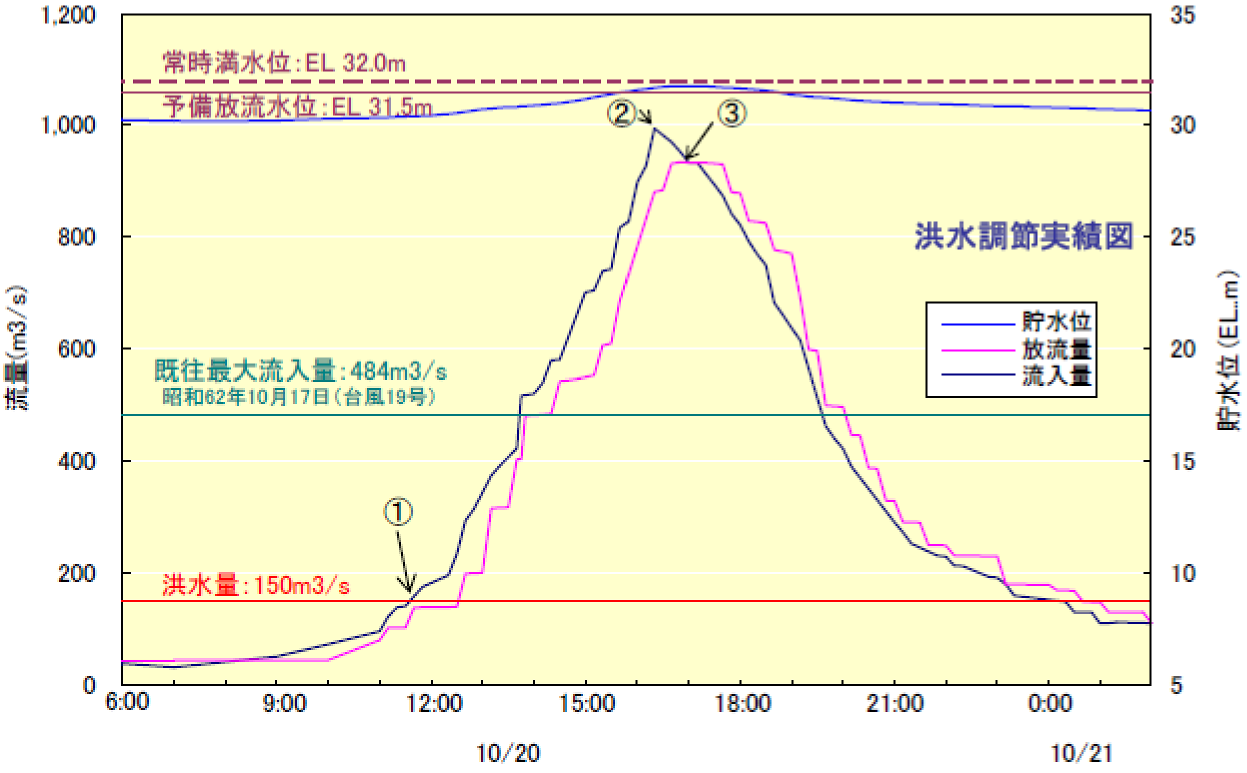
［危機管理課］

２－８　平成１６年台風２３号の対応経過・被害等

1　雨量(単位：mm、最大時間雨量は 10/20 のデータ)

観測局名	市内			綾川上流		
	坂出	府中	王越	田万	柏原	長柄
累計雨量	220	298	148	328	374	299
最大時間雨量 時間帯 備考	26 13～14 時	45 13～14 時	11 12～13 時	45 14～15 時 43 13～14 時	41 14～15 時 ただし 11-13 時欠測	44 13～14 時

2　府中ダムの状況
(県ホームページ「台風 23 号に伴う府中ダムの洪水処理について」より)



・　常時満水位(EL32.0m)
　香川県府中ダム操作規程では、常時満水位の 32.0m で運用することとなっているが、安全のため通常は予備放流水位まで下げて管理している。

・　予備放流水位(EL31.5m)
　府中ダムは洪水調整をするための治水容量を持たない工業用専用の利水ダムなので、洪水が予想される場合、貯水位を常時満水位(32.0m)から予備放流水位(31.5m)まで下げて洪水処理を行う水位。

・　洪水量(150m3/S)
　香川県府中ダム操作規程において「洪水」とは、流水の貯水池への流入量が毎秒 150m3 以上である場合における当該流量をいい、「洪水時」とは洪水が発生している時をいう。

①　ダムへの流入量が洪水量に到達　11:40　158 ㎥/ｓ
②　最大流入量　16:20　995 ㎥/ｓ(既往最大流入量　484 ㎥/ｓ(S62.10.17 台風 19 号))
③　最大放流量　16:50　934 ㎥/ｓ(既往最大放流量　462 ㎥/ｓ(S62.10.17 台風 19 号))

３　対応経過（一部）

○　１０月１９日（火）

15:00　臨時部長会を開催（台風対応協議）

・　明日２０日 18:00 時頃香川県に最接近の見通し

・　潮位は、２０日坂出港 16:09 に満潮２９６㎝

・　動員に備えて職員は明日作業着等を持参すること、明日９時に臨時部長会開催する。

16:10　**大雨・雷・洪水注意報**が発表

○　１０月２０日（水）

5:56　**暴風波浪警報発表、水防本部設置**、部課長出動

6:45　香川県水防本部設置

6:55　県道城山府中線が土砂崩れで通行止め。

8:50　農水課より、王越町乃生地区で**井戸水に濁り**あり、土砂崩れの心配の通報。

9:00　**水防本部会（1 回目）**

・　土嚢は現在 3,000 数百あり、たちまちは間に合いそう。1,000 切りそうなら土嚢作り開始する。とりあえず要員だけ確保。

・　潮位の現状報告（港湾課長）、台風コース的には高潮にはならない見込み。

・　大雨による河川、溜池の氾濫等への警戒

9:05　八十場で山からの水が溢れている旨（市民情報）。

9:10　ふれあい会館に**自主避難１人（初）**

9:45　府中ダムへ問合せ確認。現在毎秒４４㎥の放流、今後毎秒１５０㎥程度まで増水させる方針。毎秒１５０㎥になれば綾川の河川敷は水没する。

毎秒１００㎥になる際に市へ通報するよう依頼。

9:45 頃　笠山団地　土を含んだ水が流れ出している情報あり。

9:49　**大雨洪水警報発表**、高潮注意報発表

9:50　自主避難情報（王越町乃生地区４人）

10:00　建設課長へ与島町東方の崖地調査依頼。

10:27　県道城山川津線の復旧完了し通行止め解除

10:45　府中ダム放流量、１１時から毎秒１００㎥へ

11:00　**水防本部会（第２回）**

・　土嚢は昨日から計 700 出たため現在 2,600 袋。今しばらくは間に合いそう。

・　瀬戸大橋は、JR は既にストップ、道路は 11:20 に通行止め予定。

・　消防団に巡回警戒要請を行った旨。

11:25　与島町大津港付近住人自主避難。

11:25　川北地区市民宅と低温貯蔵庫間に山からの水が大量に流れ、水路を越えて田に流れ込んでいる。地元対応済み。

11:30　大屋冨町家族４人が出張所へ自主避難（自治会長より）

11:40　高屋町明神川の浜街道より北側市道部分にオーバーフローし、通行止めへ。

11:44　**高潮警報発表**　※ＴＰ上２．２メートルへ（それまでは２．１メートル）

11:45　県道高松王越坂出線の松浦工業から馬返の間 12 時から通行止め

11:50　県営水道より、府中ダム放流を 12:30 から毎秒 170 ㎥へ。県営水道は流域住民に警戒広報する。市としてもサイレン吹鳴装置での周知手配。

12:00　**がけ崩れ情報**。府中町新宮の裏山が崩れていると近くのＧＳから通報あり、消防と建設課で現場へ急行。

※12:20 に 20m×１ｍの崩壊確認、関係４世帯に避難指導。

12:00　高屋町蚊渕、通行止め

12:00　高屋町にて市民宅**車庫に土砂流入情報**。

※12:17 高さ 10m、幅 7～8ｍの土砂崩れ。家にも入っている。避難指導。

12:30　**府中ダム放流量、毎秒 170 ㎥へ。**後刻 19:20 県営水道に確認

12:40　川津出張所への**自主避難情報**。２名。

12:40　新宮八幡神社付近で一輪車 3、4 杯分の土砂崩れで、さらに拡大の恐れあり。

12:40　府中町正行池が１ｍで溢れる。農水課長へ連絡。

12:45　消防より、高松自動車道の高松中央ＩＣ～善通寺ＩＣ間通行止め

13:00　府中町横山市民より、裏山が崩れ納屋に土砂流入の連絡あり。たちまち対応しかねるので、危険であれば自主避難を勧めた。
13:00　消防より、高屋町の通行止めの市道脇の水路が溢れて田に水が流れ込んでいるとの情報あり、対応依頼されたが対応不可。
13:00　川津町市民より、折居川、井手の上のかいじょ？川が氾濫する寸前になっている。建設課へ
13:01　**大雨警報発表**
13:00 頃 台風が高知県土佐清水市付近に上陸。
13:30　川津町東山自治会長より、西川県議宅下から水が出ている。下側の市民宅に流れている。公社局長が現地調査へ。
13:13　浸水のおそれ情報
・　福江町、八十場西団地)、加茂町、八幡町)＝建設課より、久米町１、笠指町＝建設課より、加茂町西ハウス付近から山手にかけて＝警察署より、それぞれ通報あり。
13:45　はつほ印刷(富士見町)より、水が出ている情報。
13:45　豊和開発より、金山ニュータウン付近で、石積みから水が出ている。土砂崩れも発生している情報あり。
13:45　**加茂町(山ノ神、杉仏、樋本、東杉尾)に避難勧告**
※　情報で、加茂町杉仏池が決壊のおそれれあり。
13:50　香川議員より、大屋冨町中北・中南地区の東側の山が土砂崩れのおそれありとの情報。
14:00　緑町市民より、常盤公園登り口で水が溢れている。現場に来て早急に対応せよとのこと。
14:00　御供所町市民より、坂出工業高校西側で浸水被害情報。
14:00　予防課長より、大屋冨町松浦工業近く、土砂崩れで水路を塞ぎ畑へ流れている、重機対応必要の報。道路を塞ぎ通行不可。建設課へ報告。
14:00　中河議員より、谷町で道路冠水、１０戸程度浸水しているとの情報。
14:00　農水より、城山温泉下の家が山からの水でブロック塀倒壊。付近の人も含めて出張所への避難を指導。
14:15　警報、注意報は継続。**最大潮位ＴＰ上２．３メートル**(１７時頃)
14:20　府中団地の市民より、**綾川が逆流し道路冠水**している。
14:20　八幡団地自治会長より、池の水が一杯になっている。農水課長へ連絡。
14:30　**府中町(桜ヶ丘正行池の下流域)、高屋町(蚊渕、沖)、大屋冨町(須賀、松ヶ浦池の下流域)、福江町(三丁目の一部)に避難勧告**
14:35　予防課長より、大屋冨町松浦工業の裏と高橋産業の裏で、県道２箇所塞いでいる。水路も埋まり付近の家が浸水している。
14:40　環境交通課長より、坂出駅西側の高架下～マルヨシセンター間通行止め。
14:45　福江町笠山団地の道路冠水情報。
14:45　久米町市民より、床下浸水している。避難指導
14:50　元町調剤薬局より、道路冠水で浸水のおそれあり、土嚢が必要。取りに行く。
14:50　明石建設より、雌山西麓の資材置き場へ土砂崩れあり。
14:50　西庄文化センターより、４階建て市営住宅付近に水が溢れている。
14:55　坂出署より、**加茂町角池が決壊のおそれ**あり、付近住民の避難等対応必要。
15:00　この頃台風は高知市付近を通過中。時速 50 キロ北北東
香川県では過去数年間で最も土砂災害の危険性が高くなっている。
15:00　**災害対策本部(23 号分)設置**
15:00　市民宅玄関から水が入ってきたとの通報。
15:05　消防より、14 時～15 時の時間雨量 30 ミリで延 231 ミリ。
15:05　**人的被害情報**。瀬居町にて全身打撲軽症１名、前頭部切傷軽症１名、同時搬送で市立病院へ。
15:10　消防より、**瀬居町にて裏山が崩壊**の情報あり。
15:10　坂出工業高校より、西側、北側では 40～50 ㎝冠水、正門 5～10 ㎝冠水、校舎の床下浸水あり。
15:15　坂出署より、新富町自治会長がＲ４３８～塚田木材間の通行止め依頼あり。環境交通課へ依頼

15:15　公社局長より、川津町の鉄工所のクレーンが倒れて道を塞いでいる。所有者に対応依頼。
15:15　八幡町市民より、床下浸水している。高齢で足が悪いとのこと。西部小学校に避難するよう指導。
15:20　高潮情報、この時点３４０㎝で偏差５０㎝
15:20　青海町中村の山麓の溜池(**川田池)が決壊？**。
15:20　青海町中村公民館の北、市民宅より川の水が溢れて家に入ってきている。土嚢がほしい。→　対応不可
15:20　府中町綾坂上自治会長より、裏山が崩れそうなので近所と一緒に公民館に自主避難する予定の旨。建設課で電話対応？
15:25　フジ時計店より、栄筋商店街を通行止めにしてほしい旨。環境交通課へ対応依頼。
15:30　金山ニュータウンの避難
15:30　建設課より、常盤団地が床下浸水、自主避難指導。
15:30　建設課より、西庄北団地に水が出ている、自主避難指導。
15:35　市民より、市立病院北側道路を通行止めにしてほしい。
15:35　坂出商業高校より、避難者２名が来校。
15:35　瀬居小学校に５５人が避難。
15:40　松山出張所長より避難情報。公民館 24 人、小学校 26 人、農協 13 人、計 63 人。
15:55　府中小学校より、体育館や職員室に水が迫っている。
16:00　府中小学校より、学校敷地に綾川からの水が流入し、職員室に避難している。教育部長が改めて学校施設の２階へ移動するよう指示した。
16:00　**松山校区全域に避難勧告**
市内全域に自主避難勧告
16:10　谷町市民より、道路冠水で避難できない旨、消防へ救援依頼。
16:30　常盤町住民より、軍人墓地が崩れている旨。保健課対応へ。
16:30　林田町浜西の市民より、浜墓地北側三叉路付近が水浸しで対策を講じてほしい旨。
16:30　消防団の要請で加茂出張所長より、県道 180 の１部通行止め要請あり。対応不可
16:30　西山脳外科裏ローズガーデン(56-3330)を避難場所に使用して可との連絡あり。
16:50　17:00 以降も全職員に引続き台風対応指示(アナウンス)
16:50～17:10　**府中ダム放流量のピーク(毎秒９３４㎥)**後刻 19:20 県営水道に確認
17:00　谷町市民から、家の中にし尿が流れ込みそうだとのこと。個別対応不可伝えて、もう少し様子見るよう説得。
17:10　環境交通課長より、学園通りの道路冠水は水位が低下し始める。現在 30～50 ㎝程度。
17:20　ふれあい会館への避難者１名帰宅。
17:40　加茂町市民より、床上浸水している。今後の市の予防対策を問う。住めなくなった場合の老人の滞在施設については松ヶ浦荘が迎えに行く旨伝えた。
17:45　高屋町塩口の山が土砂崩れ。
17:50　出張所長へ付近の人に避難を勧めるよう依頼。
18:00　文京町一丁目市民より、トタン屋根が隣家間の水路に落ちている旨。下水道課対応へ。
18:00　王越町木沢(王越小学校東方)の**松池の上側池が決壊**。王越土地改良区理事長より。
18:20　**災害対策本部会開催**
18:46　**高潮警報解除**
19:00　与島開発総合センターへの避難者浦城地区３世帯４人が帰宅
19:00　松山出張所長より、出張所前道路の冠水で交通止め依頼あり。対応困難
19:00　京町市民より、前の道に 40 ㎝程度の水が入り、し尿のような異臭あるとのこと。増水の理由と対応を問う旨。建設課に確認後本人に連絡し理解得る。
19:20　**府中ダム放流量の状況は、現在毎秒６００㎥**
19:30　府中団地の市民より、現在床上 20 ㎝で、まだ水嵩が増している、どうなっているのか。建設課補佐に対応依頼。
19:30　サテイより弁当 30 ケ差し入れ。避難者へ。
20:00　駅前通自治会長より、井上接骨院前横断歩道から水が噴き出している旨。下水・都市計画に連絡し現場調査へ。
20:10　暴風･波浪警報が強風･波浪注意報に

20:43　市民部長より、綾坂公民館への避難者３５人。
20:50　議会事務局職員より、府中町城山で裏山が崩れたとのこと。
21:25　**大雨警報が注意報に。**
22:00　加茂校区連合自治会長から、地元要望２点。
①　加茂町、松成議員宅付近の県道に山手からの土砂が流入し、早期の除脚
→　建設課（県土木）へ依頼
②　綾坂地区市道にごみが散在しているので早期の撤去　→　清掃事業課へ依頼
22:15　瀬居小学校（避難所）派遣の職員より、瀬居町西浦南部の裏山が崩れ、１０軒ほどが被害受けたとの情報あり。人的被害はない。
22:35　**洪水警報が注意報へ。**
23:00　加茂出張所にて
地元側８名、行政側（建設課補佐、府中ダム管理事務所４人）で浸水被災地域を巡回。
（地元要望）
・　仏願が浸水（床上 60 ㎝～床下）したのは府中ダム放流が原因であり、県は賠償せよ。
・　市はごみの搬出方法、トイレの汲取りを迅速に対応すること。市道上のごみの除去を早急に行うこと。
23:00　**災害対策本部会開催**
23:30　自主避難勧告の解除

４　避難者数

（平成 16 年 11 月 24 日　市議会総務消防委員会報告分）

避難場所	避難者数	避難場所	避難者数
西部小学校	0	与島小学校	0
中央小学校	0	与島中学校	0
中央公民館	0	櫃石小学校	0
東部小学校	４１	櫃石中学校	0
坂出中学校	0	岩黒小・中学校	0
東部中学校	0	市民ふれあい会館	0
金山小学校	0	市民広場	0
西庄小学校	2	坂出高等学校	0
林田小学校	7	坂出商業高等学校	2
白峰中学校	0	坂出工業高等学校	0
加茂小学校	２１	◎松山公民館	３４
府中小学校	１１	◎加茂公民館	１１
松山小学校	２６	◎川津公民館	9
王越小学校	１０	◎府中公民館	5
川津小学校	3	◎中央公民館与島分館	4
瀬居小学校	６７	◎王越出張所	１６
瀬居中学校	6	◎与島開発総合センター	4
沙弥小・中学校	0	◎市役所ロビー	2
万葉会館	7	◎香川県農協松山支店他５ヶ所	１４４
合　計			４３２

◎は指定以外の避難所

5　被害状況(住家・店舗)

(平成 16 年 12 月 6 日最終)

地区名	全壊	半壊	一部損壊等	床上浸水	床下浸水	合計
御供所町				6		6
中央町					7	7
常盤町				1		1
八幡町			1	1	４２	４４
白金町				2	３４	３６
本町				3	5	8
元町			1	５１	４２	９４
京町			2	３０	６７	９９
室町			3	１０	５５	６８
旭町				２７	１７５	２０２
横津町				１０	７４	８４
久米町			1		8	9
新浜町					8	8
富士見町			1	2	６７	７０
文京町				１０	６４	７４
青葉町				1	4	5
大池町					1	1
駒止町				4	７８	８２
笠指町				2	５０	５２
谷町			3	３９	２８１	３２３
福江町			1	1	１１	１３
江尻町				１７０	２６３	４３３
西庄町			4	１３	２４	４１
瀬居町	1	1	２７		7	３６
与島町			4			4
林田町				4	３４	３８
加茂町			１７	５０	４８	１１５
府中町			１６	１９９	５３	２６８
川津町			3	1	３１	３５
神谷町					7	7
高屋町			7	２０	８５	１１２
青海町			3	2	5	１０
大屋冨町			1	6	１６	２３
王越町			6	9	２６	４１
合計	1	1	１０１	６７４	１，６７２	２，４４９

床上浸水のうち住家は３５４戸

６．被害状況（その他）

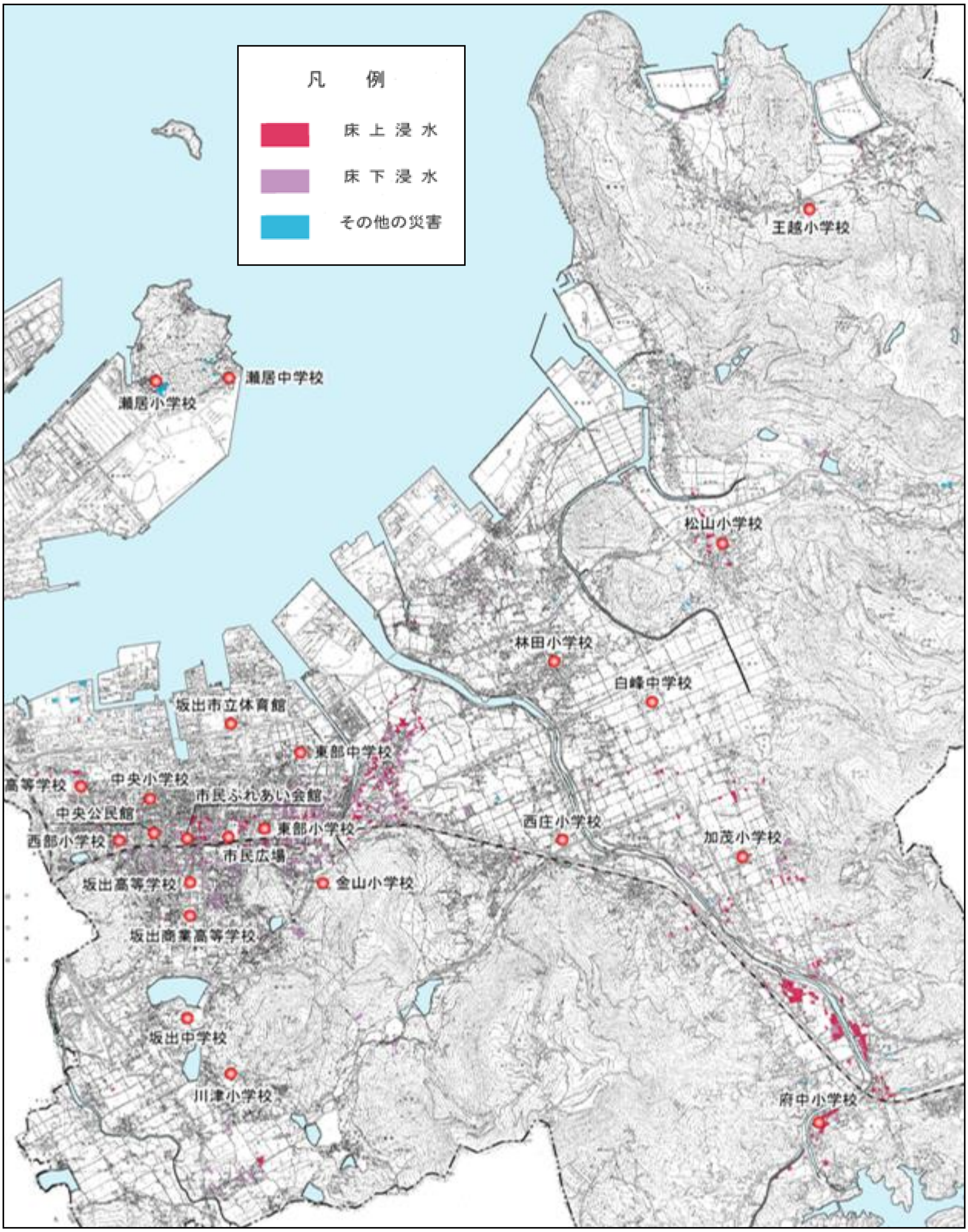
（平成 16 年 11 月 24 日　市議会総務消防委員会報告分）

担当部	担当課	被害の種類	被害の場所	被　害　内　容
総務部	管財課	浸水被害	府中出張所	床上浸水による空調機器、１階和室及び宿直室の壁・畳、浄化槽、各種備品の損傷
		浸水被害及び建物被害	翠松閣等	床下浸水、室内雨漏り、内壁の一部崩壊、外壁の一部崩壊等
市民部	福祉事務所	浸水被害	府中老人いこいの家	床上浸水による畳、襖、障子、床の損傷
	保健課	建物被害	与島診療所等	壁の一部破損、雨漏り等
		土砂崩れによる墓石倒壊等	田尾墓地外１０ヶ所	市営墓地３ヶ所、部落管理墓地７ヶ所、軍人墓地１ヶ所
環境経済部	環境交通課	カーブミラー	府中町小原　大捕産業前	風により根元から折れ転倒
		道路警戒標識	瀬戸大橋記念公園外周道路	風により根元から折れ転倒
		大気汚染自動測定機	府中局（府中出張所内）	浸水により半損
	清掃事業課	最終処分場の法面及び進入路崩落	坂出環境センター（最終処分場）	場内法面 11 ケ所崩落
	農林水産課	農作物被害 水稲　冠水	旧市、川津、西庄、府中、加茂、林田、松山	面積 7.6ha（旧市 0.4ha、川津 0.4ha、西庄 0.8ha、府中 0.4ha、加茂 1.6ha、林田 1.6ha、松山 2.4ha）
		〃 レタス　冠水	松山	面積 10.0ha
		〃 ブロッコリー　冠水	旧市、林田、松山	面積 4.1ha（旧市 0.2ha、林田 3.6ha、松山 0.3ha）
		〃 金時人参　冠水 金時人参再播種　冠水	旧市、林田、松山 松山	面積 36.3ha（旧市 8.3ha、林田 4.0ha、松山 24.0ha） 面積 2.0ha
		〃 大根　冠水 大根再播種　冠水	松山 松山	面積 15.0ha 面積 15.0ha
		〃 みかん　すれ	旧市、西部、川津、西庄、府中、加茂、林田、松山、王越	面積394.8ha（旧市4.5ha、西部0.3ha、川津 9.2ha、西庄 7.9ha、府中 37.5ha、加茂 17.4ha、林田 13.7ha、松山 229.4ha、王越 74.9ha）
		〃 中晩かん　すれ	旧市、川津、西庄、府中、加茂、林田、松山、王越	面積 56.7ha（旧市 0.8ha、川津 4.6ha、西庄 1.7ha、府中 7.6ha、加茂 2.2ha、林田 1.9ha、松山 33.1ha、王越 4.8ha）
				計　541.5ha
		農業施設被害 ビニール破損	府中、松山	70a（府中 60a、松山 10a）
		水産陸上施設被害 船巻揚施設	瀬居	1 ケ所破損

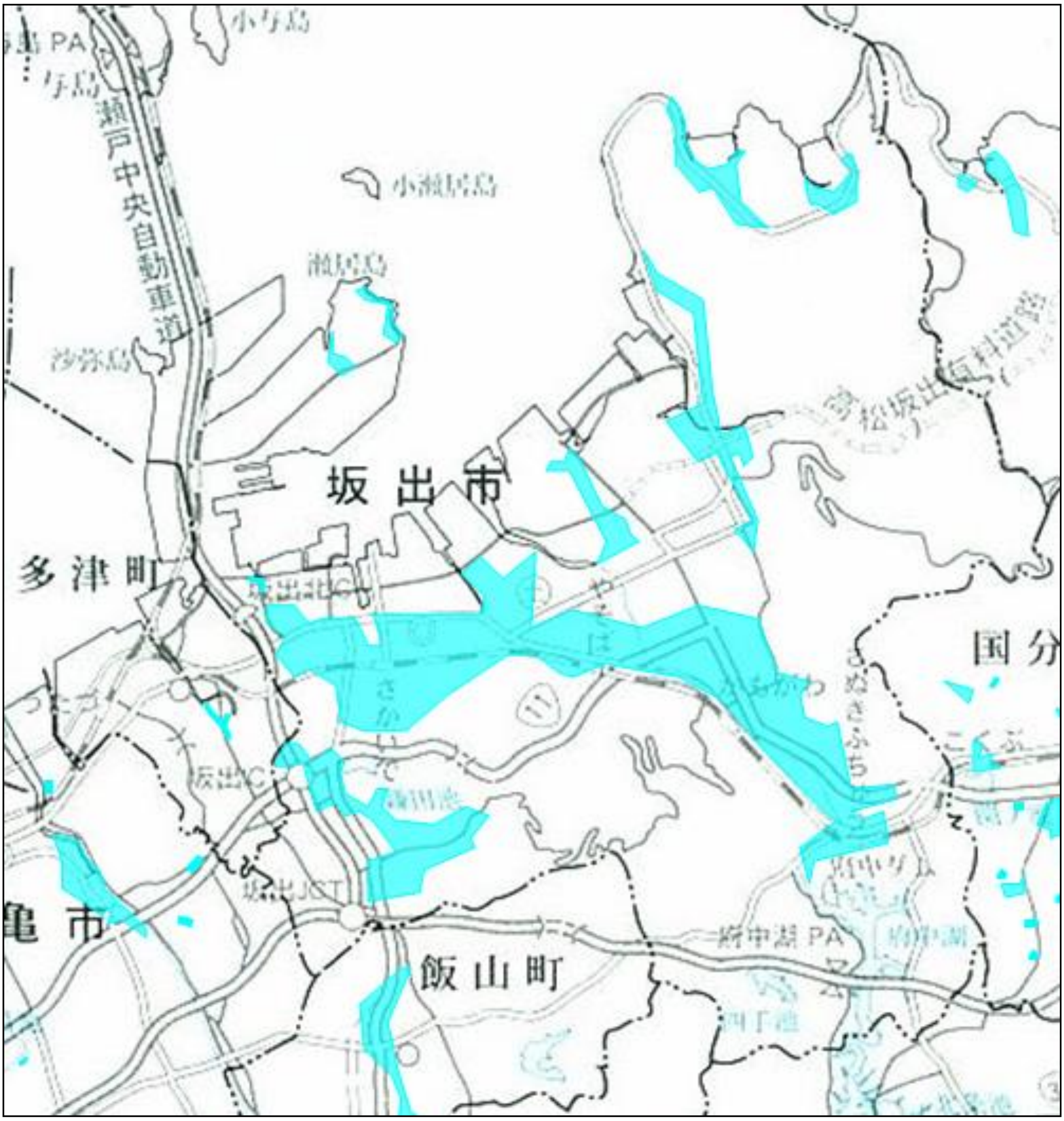
担当部	担当課	被害の種類	被害の場所	被　害　内　容
		漁船被害 漁船	与島、王越	5 隻中破(与島 1、王越 4)
		農地被害 農地土砂流入等	松山、王越、林田、加茂、西庄、府中、府中開拓ﾊﾟｲﾛｯﾄ、川津、鎌田池	160 ケ所(松山 8、王越 28、林田 1、加茂 2、西庄 1、府中 51、府中開拓ﾊﾟｲﾛｯﾄ 48、川津 16、鎌田池 5)
		土地改良施設被害 水路崩壊等	松山、王越、加茂、府中、府中開拓ﾊﾟｲﾛｯﾄ、川津	59 ケ所(松山 15、王越 13、加茂 5、府中 17、府中開拓ﾊﾟｲﾛｯﾄ 2、川津 7)
		〃 水路土砂流入等	松山、王越、林田、加茂、西庄、府中、府中開拓ﾊﾟｲﾛｯﾄ、川津	86 ケ所(松山 22、王越 6、林田 4、加茂 8、西庄 6、府中 10、府中開拓ﾊﾟｲﾛｯﾄ 20、川津 10)
		〃 農道崩壊等	松山、王越、林田、加茂、府中、府中開拓ﾊﾟｲﾛｯﾄ、川津、鎌田池	63 ケ所(松山 5、王越 7、林田 1、加茂 3、府中 20、府中開拓ﾊﾟｲﾛｯﾄ 20、川津 2、鎌田池 5)
		〃 溜池決壊等	王越、加茂、府中、鎌田池	9 ケ所(王越 1、加茂 3、府中 4、鎌田池 1)
				計 377 ケ所
		山林被害 土石流等	旧市、川津、西庄、府中、林田、松山、王越	22 ケ所(旧市 4、川津 2、西庄 2、府中 4、林田 3、松山 5、王越 2)
都市建設部	港湾課	港湾被害	総社地区	総社北西護岸　Ｌ＝３２０ｍ　堤体工・捨石・被覆石の崩壊
		〃	松ヶ浦地区	松山４号防波堤　Ｌ＝１５ｍ　５号導流堤　Ｌ＝４０ｍ 上部工・捨石・被覆石の崩壊、照明設備の破損(２基)
		〃	阿河浜地区外２２ヶ所	護岸の陥落・被覆石の崩壊、車止破損、浮遊物の打上げ
		漁港被害	王越乃生地区	Ｃ物揚場　Ｌ＝２５ｍ　G 護岸　Ｌ＝１５ｍ　護岸・石積みの崩壊
		〃	瀬居西浦地区外７ヶ所	護岸の陥落・階段コンクリートの崩壊、浮遊物の打上げ
	建設課	砂防被害	瀬居西浦地区外５ヶ所	土石流・法面崩壊　瀬居西浦地区１１戸仮設住宅へ
		道路被害	八十場川津線外８３ケ所	土砂堆積、法面崩壊、倒木、陥没、水路崩壊
		河川被害	中村川外７河川	護岸崩壊、土砂流入、流木詰り
		河川敷公園被害	西庄地区外２地区	増水、土砂堆積、トイレ等流出等
		ポンプ場被害	与北水門外２ヶ所	土砂流入・ゴミ流入による故障
		住宅被害	西庄北・東団地外８団地	床上浸水６戸、床下浸水２０戸、屋根瓦飛散、雨漏れ等
	都市計画課	公園被害	香風園	ろ過設備冠水による故障(駆動機４台、ポンプ２台)
		公園被害	東大浜公園外２ヶ所	倒木(ヒマラヤスギ４本、ニセアカシア９本)

担当部	担当課	被害の種類	被害の場所	被　害　内　容
	下水道課	ポンプ場被害	西部ポンプ場外３ヶ所	土砂堆積・ゴミ流入
		排水路被害	権吉川外２ヶ所	土砂堆積・ゴミ詰り
教育委員会	社会教育課	浸水被害	沙弥ナカンダ浜	浜浸食(全域)、エノキ根幹部浸食、遊歩道一部浸食、遊歩道花こう土流出および土砂崩れ
		〃	沙弥オゴソエの浜	浜浸食(全域)、倒木、根幹部浸食、遊歩道崩壊
	庶務課	浸水被害	府中小学校	運動場汚泥流入、教室床上浸水(２ヶ所)、体育館床上浸水、給食場内設備損傷
		施設被害	金山小学校	運動場土砂堆積
		建物被害	林田小学校	職員室、廊下、便所雨漏り
	体育課	設備被害	トクヤマグランド	ホームランフェンス４面倒壊、器具庫窓ガラス破損、ダッグアウトテント破損
		〃	テニスコート	汚泥浸入による人工芝破損
		〃	番の州プール	樹木倒壊による休憩用テント及びフェンスの一部破損
消防本部	庶務課	車両被害	久米町一丁目等	小型ポンプ積載車１台、普通ポンプ自動車２台
水道局	工務課	取水用原水高濁度	綾川石井橋上流集水井	異常高濁度による浄水処理能力低下、これに伴う香川用水受水量増加に伴う契約水量の超過

7　平成１６年台風２３号 被害箇所図



８．平成１６年台風２３号 浸水区域図（香川県作成）



凡例: 浸水エリア

［危機管理課］

２－９　平成２０年８月末豪雨（８月２９日）の記録

○　中讃における注意報の状況

　８：０５　［発表］雷注意報
　９：５５　［発表］大雨・洪水注意報、［継続］雷注意報
１３：３１　［解除］大雨・洪水注意報解除、［継続］雷注意報
１４：５１　［解除］雷注意報

○　雨量の状況（単位：㎜）

８／２９　１１：００～１２：００

	坂出		王越		府中		番ノ州	
観測時刻	10 分雨量	連続雨量	10 分雨量	連続雨量	10 分雨量	連続雨量	10 分雨量	連続雨量
11：10	0	0	0	12	0	22	0	13
11：20	4	4	2	14	0	22	10	23
11：30	18	22	4	18	0	22	29	52
11：40	22	44	15	33	0	22	17	69
11：50	10	54	16	49	0	22	1	70
12：00	1	55	14	63	0	22	1	71
１時間雨量	55		51		0		58	

１２：００～１３：００

	坂出		王越		府中		番ノ州	
観測時刻	10 分雨量	連続雨量	10 分雨量	連続雨量	10 分雨量	連続雨量	10 分雨量	連続雨量
12：10	0	55	7	70	0	22	1	72
12：20	0	55	2	72	0	22	1	73
12：30	1	56	1	73	0	22	0	73
12：40	0	56	0	73	0	22	0	73
12：50	0	56	0	73	0	22	0	73
13：00	0	56	0	73	0	22	0	73
１時間雨量	1		10		0		2	

○　被害状況

・　床下浸水

	件数
久米町二丁目	１棟
瀬居町　西浦	２棟
林田町	３棟

・　冠水

	状況
水道局北側　市道	路面冠水　１５㎝ 通行止め　１２：００～１２：４０
庁舎北側　市道	路面冠水　１５㎝

	通行止め　１２：００～１２：４０
市立病院北側　市道	路面冠水通報あり→現場到着時、冠水なし １２：２０　10㎝
東大浜全体	路面冠水通報あり→現場到着時、冠水なし １２：３０　10㎝
番ノ州三菱化学前　県道	路面冠水　10㎝
県道坂出港線(国際ホテル前)	路面冠水
川津町　坂出IC付近アンダーパス	冠水　30㎝
青海町向　浜街道下アンダーパス	冠水　30㎝(市道)

・　その他

青海町　新開ポンプ場	落雷によるトランス故障により、ポンプ停止
金時人参の畑(松山、林田、旧市)	畝くずれ　３８．２ha

○　対応状況

・　し尿汲み取り

	件数
瀬居町　西浦	３件
八幡町三丁目	１件
白金町三丁目	１件
新浜町	１件
林田町　浜中	１件

・　石灰配布、消毒

	件数
久米町二丁目	７件
御供所町一丁目	１件
瀬居町	４件
常盤町一丁目	６件
林田町	５件
室町三丁目	１件

［危機管理課］

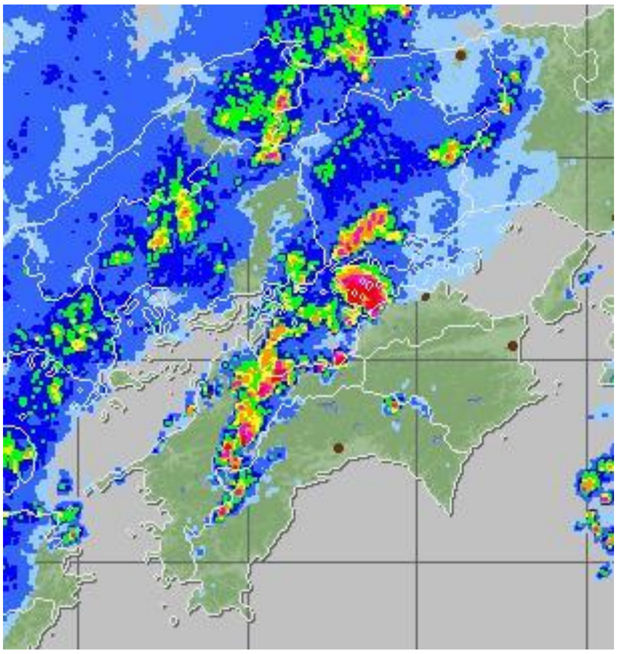
２－１０　平成２０年９月２１日集中豪雨の記録

○　中讃における注意報の状況

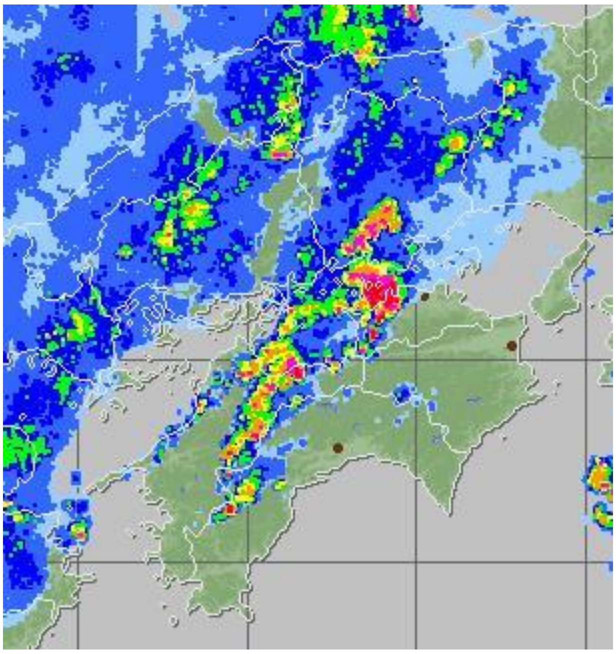
１：５３	［発表］雷注意報	
１０：４８	［発表］大雨・洪水注意報、［継続］雷注意報	
１６：１５	［解除］大雨・洪水注意報、［継続］雷注意報	
２２：１０	［解除］雷注意報	

○　レーダー雨量(気象庁ホームページ　「レーダー・降水ナウキャスト」より)

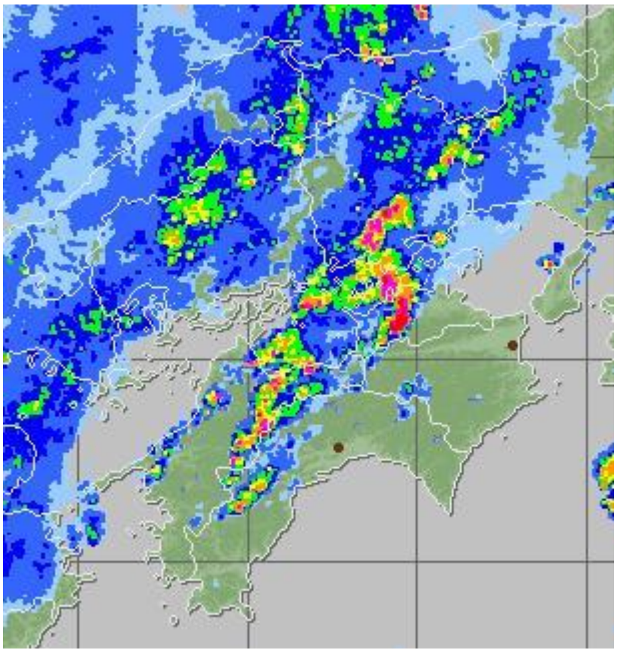
10:50



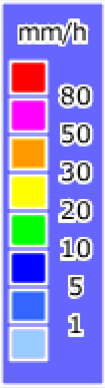
11:00



11:10



凡例



○　雨量の状況（単位：㎜）

観測時刻	坂出		王越		府中		番ノ州		城山		川津	
	10 分雨量	連続雨量	10 分雨量	連続雨量	10 分雨量	連続雨量	10 分雨量	連続雨量	10 分雨量	連続雨量	10 分雨量	連続雨量
11：00	0	1	0	1	0	2	4	5	0	2	1	2
11：10	7	8	3	4	1	3	11	16	2	4	8	10
11：20	18	26	9	3	3	6	7	23	9	13	7	17
11：30	0	26	3	16	3	9	0	23	0	13	0	17
この後の記録は残っていない。												

○　被害状況

・　床下浸水

地区	件数
久米町	１棟
林田町	５棟（うち非住家１棟）

［危機管理課］

２－１１　東北地方太平洋沖地震への対応

１　津波警戒本部(本部長　市長)　３月１１日１５時４５分設置　２１時５０分解散

(1)　体制

係長以上待機対応　　約２００名体制

(2)　本部会議開催状況

第１回　１５時４５分

第２回　１７時００分

第３回　１９時００分

第４回　２１時００分

(3)　本部事務局

３月１１日１５時４５分設置　２２時５０分解散

３月１２日０９時００分　問い合わせ対応のため待機再開

１３時５０分　津波注意報解除に伴い解散

２　広報活動

(1)　広報内容

海岸や河口に近づかない。

(2)　広報班編成

①　市職員８班(広報車８台)　　２４名(第１、２便)＋２４名(第３、４便)　総計４８人体制

第１便　16:30　～　18:00

第２便　17:45　～　19:15

第３便　19:00　～　20:30

第４便　20:15　～　21:45

②　消防２班と消防団

(3)　その他の広報方法

①　有線放送、ケーブルテレビ、サイレン吹鳴装置(16:20より定期的に実施)、ＦＭサン等にて周知

②　市内各校区連合自治会長に電話連絡

③　各地区放送設備(島しょ部)に放送依頼

④　ホームページでの周知

⑤　沿岸部企業６０社、市内漁協、港運協会に連絡

⑥　ポートラジオにて航行中の船舶に注意喚起

３　津波の状況(気象庁)

(1)　与島港到達予想時間

第１波　３月１１日　１８時３０分　　約５０㎝

(2)　与島港観測地(２０時４７分)

第１波　３月１１日　１９時３８分　　０．１ｍ

最大波　３月１２日　１３時３３分　　０．２ｍ

４　被害状況

本市において被害なし。

５　その他の対応

土嚢および運搬用トラックを準備